

「図書館の分類に関する調査（2023）」集計結果の詳細（館種別内訳等）

本集計は、日本図書館協会（JLA）分類委員会が、2023年7月から8月にかけて、全国の公共図書館および大学図書館等を対象に実施した、「図書館の分類に関する調査（2023）」の調査結果を、館種別に集計したものであり、『図書館雑誌』（Vol.118, No.3, 2024.3, p.144-148）で公表した報告内容を補完するものである。

館数単位館。館数ゼロは空白で表記。館数に併記されているパーセンテージは、回答館数を母数とした構成比。

回答肢「その他」を選択した場合の記入による回答内容、自由記入の回答内容は、集計に当たり、用語の統一や回答内容の要約を行った。

以下を別表とした。

（別表1）「複数選択可」の設問に対する複数回答の組み合わせ別回答館数

（別表2）設問C(2-3)の「原則的桁数」別回答内容（原則的桁数を3、4、5、6桁のいずれかにより明記した回答を対象）

【A】調査回答館数

	公共図書館						大学図書館						
	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	計	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高等専門学校	その他	計
調査対象数	59	2,600	628	18		3,305	288	147	1,041	156	61	16	1,709
調査回答館数	52	1,587	428	7	32	2,106	184	65	406	26	45	13	739
回答率	88.1%	61.0%	68.2%	38.9%		63.7%	63.9%	44.2%	39.0%	16.7%	73.8%	81.3%	43.2%
中央館	45	638	388	7	29	1,107	67	49	311	26	42	13	508
中央館以外	7	949	40		3	999	117	16	95		3		231
Googleフォーム回答	33	1,034	352	5	30	1,454	165	60	380	24	43	11	683
Excelファイル回答	19	553	76	2	2	652	19	5	26	2	2	2	56

設問A（A(1)館種、A(2)中央館か中央館以外か、A(3)所在する都道府県名、A(4)調査対象の図書館名、A(5)回答を行う図書館名、A(6)連絡先）の回答をもとに集計。

「調査対象数」は『日本の図書館 2022』による。

公共図書館の「その他」は回答のあった公民館図書室など、大学図書館の「その他」は大学校、大学共同利用機関の図書館。

【B】分類法の適用について

B(1) 分類法を使用しているか（すべての資料に対してでなくてよい）。1つ選択。[必須]

	公共図書館						大学図書館																			
	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	計	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高等専門学校	その他	計													
1 配架・検索に使用	52	100.0%	1,578	99.4%	410	95.8%	4	57.1%	20	62.5%	2,064	98.0%	178	96.7%	65	100.0%	396	97.5%	26	100.0%	45	100.0%	13	100.0%	723	97.8%
2 配架のみに使用			6	0.4%	11	2.6%	3	42.9%	5	15.6%	25	1.2%	5	2.7%			6	1.5%							11	1.5%
3 検索のみに使用			2	0.1%	2	0.5%			1	3.1%	5	0.2%			1	0.2%									1	0.1%
4 使用していない			1	0.1%	5	1.2%			6	18.8%	12	0.6%	1	0.5%			3	0.7%							4	0.5%
回答館数	52		1,587		428		7		32		2,106		184		65		406		26		45		13		739	

B(2-1) 分類法を使用している場合、新規受入の和図書に対して適用している分類法について、いずれか主なほうを選択。

	公共図書館						大学図書館																			
	都道府県立	市区立	町村立	私立	その他	計	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高等専門学校	その他	計													
1 NDC	52	100.0%	1,560	98.9%	419	99.3%	6	85.7%	26	96.3%	2,063	98.9%	144	79.1%	62	95.4%	362	89.8%	26	100.0%	45	100.0%	6	46.2%	645	87.9%
2 NDC以外			17	1.1%	3	0.7%	1	14.3%	1	3.7%	22	1.1%	38	20.9%	3	4.6%	41	10.2%					7	53.8%	89	12.1%
回答館数	52		1,577		422		7		27		2,085		182		65		403		26		45		13		734	

(無回答※)

(9)

(1)

(10)

(1)

(1)

※B(1)の回答が1, 2, 3で無回答

(集計表B(2-1)付表) 「2 NDC以外」の回答内容

	公共図書館						大学図書館						
	県立等	市区立	町村立	私立	その他	計	国立	公立	私立	短大	高専	その他	計
DDC (デューイ十進分類法)							2		1				3
NDLC (国立国会図書館分類表)			1			1	3					1	4
NLMC (米国国立医学図書館分類法)							15	1	22				38
UDC (国際十進分類法)							3		3			2	8
日本看護協会看護学図書分類表								2	3				5
仏書共通分類表									1				1
独自分類		14	2	1		17	14		11			4	29
独自分類 (指定管理者による)		2				2							
ライフスタイル分類		1				1							
大まかなジャンル別					1	1							
和図書非収集							1						1

B(2-2) 前問B(2-1)で新規受入の和図書の分類法として「1 NDC」を選択した場合、適用しているNDCの版について、主なものを1つ選択。

	公共図書館										大学図書館															
	都道府県立		市区立		町村立		私立		その他		計		国立大学		公立大学		私立大学		短期大学		高等専門学校		その他		計	
新訂10版	29	55.8%	1,011	64.3%	259	62.4%	5	83.3%	13	54.2%	1,317	63.7%	64	43.8%	22	35.5%	160	43.8%	9	34.6%	17	37.8%	3	50.0%	275	42.3%
新訂9版	16	30.8%	512	32.6%	124	29.9%			3	12.5%	655	31.7%	58	39.7%	24	38.7%	130	35.6%	10	38.5%	15	33.3%	3	50.0%	240	36.9%
新訂8版	4	7.7%	15	1.0%	5	1.2%			2	8.3%	26	1.3%	10	6.8%	14	22.6%	41	11.2%	2	7.7%	5	11.1%			72	11.1%
新訂7版			7	0.4%			1	16.7%			8	0.4%	5	3.4%			14	3.8%	1	3.8%	1	2.2%			21	3.2%
新訂6版											0	0.0%	2	1.4%			1	0.3%							3	0.5%
版を決めていない			18	1.1%	24	5.8%			6	25.0%	48	2.3%	4	2.7%	1	1.6%	11	3.0%	1	3.8%	5	11.1%			22	3.4%
その他	3	5.8%	9	0.6%	3	0.7%					15	0.7%	3	2.1%	1	1.6%	8	2.2%	3	11.5%	2	4.4%			17	2.6%
回答館数	52		1,572		415		6		24		2,069		146		62		365		26		45		6		650	

(無回答※)

(4)

(2)

(6)

(0)

※B(2-1)の回答が1で無回答

(集計表B(2-2)付表)「その他」の回答内容

	公共図書館						大学図書館						
	県立等	市区立	町村立	私立	その他	計	国立	公立	私立	短大	高専	その他	計
10版+9版			3			3			1	2	1	1	5
10版+9版(自館付与分)			1	1		2							
10版(自館付与分)+9版				1		1							
10版(情報分野)+9版			2			2				1			1
10版+9版+8版			1	1		2	1						1
10版+9版8版(継続もの)	1					1							
10版9版(社会福祉・医学)+8版										1			1
10版+8版										1	1		2
10版+8版(児童書)+6版(郷土資料)	1					1							
10版+8版(点字・手話)			1			1							
9版+8版(文学)			1			1							
9版+8版+7版										1			1
9版+6-A版	1					1							
6-A版							1						1
NACSIS-CAT準拠											1		1
できるだけ新しい版												1	1
不詳							1		2				3

B(2-3) 分類法を使用している場合、新規受入の洋図書に対して適用している分類法について、主なものを1つ選択。

NDLC：国立国会図書館分類表、DDC：デューイ十進分類法、LCC：米国議会図書館分類法、UDC：国際十進分類法

	公共図書館											大学図書館														
	都道府県立		市区立		町村立		私立		その他		計	国立大学		公立大学		私立大学		短期大学		高等専門学校		その他		計		
1 NDC	51	98.1%	1,364	86.4%	307	73.4%	5	71.4%	18	64.3%	1,745	83.7%	138	76.2%	58	89.2%	330	83.1%	21	80.8%	45	100.0%	5	38.5%	597	82.1%
2 NDLC			6	0.4%	8	1.9%			1	3.6%	15	0.7%	3	1.7%			1	0.3%	1	3.8%					5	0.7%
3 DDC	1	1.9%									1	0.1%	6	3.3%	2	3.1%	24	6.0%	1	3.8%			1	7.7%	34	4.7%
4 LCC											0	0.0%	1	0.6%	2	3.1%	5	1.3%					1	7.7%	9	1.2%
5 UDC											0	0.0%	2	1.1%	1	1.5%	3	0.8%					2	15.4%	8	1.1%
6 洋書は収集せず			149	9.4%	97	23.2%	2	28.6%	9	32.1%	257	12.3%	1	0.6%			1	0.3%	2	7.7%					4	0.6%
7 その他			60	3.8%	6	1.4%					66	3.2%	30	16.6%	2	3.1%	33	8.3%	1	3.8%			4	30.8%	70	9.6%
回答館数	52		1,579		418		7		28		2,084		181		65		397		26		45		13		727	

(無回答※)

(7)

(6)

(13)

(2)

(6)

(8)

※B(1)の回答が1, 2, 3で無回答

(集計表B(2-3)付表) 「7 その他」の回答内容

	公共図書館						大学図書館						
	県立等	市区立	町村立	私立	その他	計	国立	公立	私立	短大	高専	その他	計
NACSIS-CAT準拠										1			1
NDCをカスタマイズ		1	1			2							
NLMC							15	1	19				35
NLMC+NDC									1				1
UDC							1						1
日本看護協会看護学図書分類表								1	2				3
独自分類		46	2			48	12		11			4	27
独自分類(ポルトガル語資料)+NDC			1			1							
独自分類(書架分類)+NDC(書誌分類)		1				1							
独自分類+NDC							1						1
独自分類+NDC(児童書)		1				1							
独自分類(指定管理者による)		1				1							
ライフスタイル分類		1				1							
他館の書誌を参考		1				1							
別置記号を付与		1	1			2							

分類なし		6	1			7	1							1
分類なし+NDC		1				1								

B(2-4) 前問B(2-3)で新規受入の洋図書の分類法として「1 NDC」を選択した場合、適用しているNDCの版について、主なものを1つ選択。

	公共図書館										大学図書館															
	都道府県立		市区立		町村立		私立		その他		計	国立大学		公立大学		私立大学		短期大学		高等専門学校		その他		計		
新訂10版	28	54.9%	903	65.6%	192	61.1%	4	80.0%	9	47.4%	1,136	64.4%	62	43.7%	21	36.2%	145	43.4%	7	33.3%	16	35.6%	3	60.0%	254	42.0%
新訂9版	17	33.3%	430	31.3%	98	31.2%			3	15.8%	548	31.0%	57	40.1%	24	41.4%	121	36.2%	10	47.6%	16	35.6%	2	40.0%	230	38.0%
新訂8版	4	7.8%	14	1.0%	7	2.2%			1	5.3%	26	1.5%	10	7.0%	11	19.0%	38	11.4%	1	4.8%	4	8.9%			64	10.6%
新訂7版			7	0.5%			1	20.0%			8	0.5%	5	3.5%			11	3.3%	1	4.8%	1	2.2%			18	3.0%
新訂6版											0	0.0%	2	1.4%			1	0.3%							3	0.5%
版を決めていない			16	1.2%	14	4.5%			6	31.6%	36	2.0%	3	2.1%	1	1.7%	12	3.6%	1	4.8%	6	13.3%			23	3.8%
その他	2	3.9%	6	0.4%	3	1.0%					11	0.6%	3	2.1%	1	1.7%	6	1.8%	1	4.8%	2	4.4%			13	2.1%
回答館数	51		1,376		314		5		19		1,765		142		58		334		21		45		5		605	

(無回答※)

(3)

(3)

(1)

(1)

※B(2-3)の回答が1で無回答

(集計表B(2-4)付表) 「その他」の回答内容

	公共図書館						大学図書館						
	県立等	市区立	町村立	私立	その他	計	国立	公立	私立	短大	高専	その他	計
10版(自館付与分)+9版			1			1							
10版(情報分野)+9版									1				1
10版+7版		1				1							
10版+8版									1	1			2
10版+9版								1	1			1	3
10版+9版(自館付与分)		1				1							
10版+9版+8版			1			1	1	1					1
10版+9版8版(継続もの)	1					1							
9版+8版+7版									1				1
6-A版	1					1	1	1					1
受入時最新の版		1				1							
できるだけ新しい版												1	1
不詳		3	1			4	1		2				3

B(2-5) B(2-1)・B(2-3)で選択した分類法以外に、併用している分類法（例：OPACで検索に使用，資料種によって使用等）。複数選択可。

(複数回答の組み合わせ別回答館数は別表1を参照。)

	公共図書館						大学図書館																			
	都道府県立		市区立		町村立		私立		その他		計		国立大学		公立大学		私立大学		短期大学		高等専門学校		その他		計	
1 NDC			100	11.8%	37	30.6%	1	25.0%	3	50.0%	141	13.8%	24	29.6%	3	16.7%	42	34.4%			3	23.1%	2	50.0%	74	30.1%
2 NDLC			11	1.3%	5	4.1%			1	16.7%	17	1.7%	20	24.7%	2	11.1%	21	17.2%	1	12.5%	6	46.2%			50	20.3%
3 DDC			1	0.1%							1	0.1%	20	24.7%			24	19.7%			5	38.5%			49	19.9%
4 LCC											0	0.0%	23	28.4%	1	5.6%	27	22.1%			3	23.1%			54	22.0%
5 UDC											0	0.0%	14	17.3%			8	6.6%			1	7.7%			23	9.3%
6 特になし	7	16.7%	401	47.4%	57	47.1%			2	33.3%	467	45.8%	9	11.1%	4	22.2%	9	7.4%	2	25.0%	4	30.8%			28	11.4%
7 その他	35	83.3%	343	40.5%	26	21.5%	3	75.0%			407	39.9%	51	63.0%	10	55.6%	60	49.2%	5	62.5%	5	38.5%	2	50.0%	133	54.1%
回答館数	42		846		121		4		6		1,019		81		18		122		8		13		4		246	
(無回答※)	(10)		(740)		(302)		(3)		(20)		(1,075)		(102)		(47)		(281)		(18)		(32)		(9)		(489)	

※B(1)の回答が1, 2, 3で無回答

(集計表B(2-5)付表①) 「7 その他」の回答内容 (注) 複数の事項が記載された場合、それぞれの項目に計上

	公共図書館						大学図書館						
	県立等	市区立	町村立	私立	その他	計	国立	公立	私立	短大	高専	その他	計
Classification tables for music and musical literature									1				1
DDC												1	1
DDC-Sachgruppen									3			1	4
LCC												1	1
NDC7版・10版									1				1
NLMC									10			3	13
Sachgruppen der Deutschen Bibliothek Frankfurt am Main									3			2	5
TRC音楽分類表	1	49	1			51							
ジャンル	1	3				4							
レコード分類表[高橋重臣案]及びAVM分類表	1					1							
音楽図書・楽譜分類表									2				2
漢籍分類							4						4
教科書標準分類法							1						1
金光教文献分類				1		1							
県内複数館で利用の郷土資料分類	13	105	14	1		133	1					1	2

五部分類									1				1
四部分類							1		4				5
社会福祉関係図書・資料標準福祉分類表									1				1
受入順番号											1		1
出版社の分類									1				1
書誌に使用されている分類		8				8	12	1			1		14
著者名による分類							1						1
統計分類表							1						1
独自分類（分野別内訳は「集計表B(2-5)付表②」を参照）	27	243	12	1		283	36	3	32	4		3	78
独自分類（指定管理者による）		2				2							
日本看護協会看護学図書分類表							1	6	8				15
仏教図書共通分類表				1		1			3				3
別置記号			1			1							

(集計表B(2-5)付表②) 「独自分類」を使用している分野

	公共図書館					計	大学図書館						計	
	県立等	市区立	町村立	私立	その他		国立	公立	私立	短大	高専	その他		
キリスト教									1					1
コミック		2				2								
ラウンジ・ブラウジング図書									3					3
英語多読資料								1						1
家政		1				1								
絵本									2	1				3
楽譜							2		2					4
看護学									1					1
貴重図書													1	1
教育学・心理学								1						1
教科書	1					1	4						1	5
郷土資料	15	130	9			154	3							3
古文書・絵図	1					1								
公文書	1					1								
行政資料		6				6								

雑誌		3				3						
視聴覚資料	1	36	2			39			1	1		2
歯科学									1			1
児童書	1	23				24						
社史	1					1						
情報分野		2				2	1					1
新書										1		1
闘病記		1				1						
特殊コレクション	1	1				2	5		2			7
非図書資料									1			1
仏教									1			1
明治10年以前の資料	1					1						
薬学							1					1
洋図書	2	1				3						
和古書									1			1

B(3-1) B(2-2)・B(2-4)で、新規受入の和図書および（または）洋図書にNDC新訂10版を適用と回答した場合、旧版からの切り替えにあたって行ったこと。複数選択可。

- 1 ラベルの貼り替え
- 2 配架位置の調整（サイン等を含む）
- 3 遡及的な分類データの変換
- 4 遡及的な分類データの追加
- 5 分類の適用規定類の検討・作成
- 6 特になし
- 7 その他

（複数回答の組み合わせ別回答館数は別表1を参照。）

	公共図書館											大学図書館														
	都道府県立		市区立		町村立		私立		その他		計	国立大学		公立大学		私立大学		短期大学		高等専門学校		その他		計		
1 ラベル貼替	13	56.5%	447	67.8%	63	57.8%	2	66.7%	6	85.7%	531	66.3%	8	42.1%	1	20.0%	38	50.7%	1	25.0%	6	75.0%	1	100.0%	55	49.1%
2 配架調整	11	47.8%	407	61.8%	51	46.8%	1	33.3%	3	42.9%	473	59.1%	4	21.1%	1	20.0%	30	40.0%	1	25.0%	4	50.0%			40	35.7%
3 遡及変換	11	47.8%	345	52.4%	44	40.4%	1	33.3%	4	57.1%	405	50.6%	13	68.4%	1	20.0%	34	45.3%	1	25.0%	3	37.5%	1	100.0%	53	47.3%
4 遡及追加	10	43.5%	184	27.9%	19	17.4%			1	14.3%	214	26.7%	3	15.8%			17	22.7%	1	25.0%	1	12.5%			22	19.6%
5 規定見直し	12	52.2%	142	21.5%	6	5.5%					160	20.0%	1	5.3%			28	37.3%			2	25.0%			31	27.7%
6 特になし	1	4.3%	139	21.1%	38	34.9%	1	33.3%			179	22.3%	4	21.1%	2	40.0%	15	20.0%	2	50.0%					23	20.5%
7 その他	8	34.8%	54	8.2%	6	5.5%			1	14.3%	69	8.6%	5	26.3%	4	80.0%	18	24.0%	1	25.0%	2	25.0%			30	26.8%
回答館数	23		659		109		3		7		801		19		5		75		4		8		1		112	
(無回答※)	(8)		(369)		(162)		(2)		(6)		(547)		(46)		(18)		(88)		(6)		(14)		(2)		(174)	

※B(2-2) またはB(2-4) の回答が「新訂10版」で無回答

(集計表B(3-1)付表①) 「7 その他」の回答内容 (注) 複数の事項が記載された場合、それぞれの項目に計上

	公共図書館						大学図書館						
	県立等	市区立	町村立	私立	その他	計	国立	公立	私立	短大	高専	その他	計
10版を適用しない分野の設定		4				4		1					1
MARCのタイプ変更		1				1							
MARCの遡及データ登録	1	2				3							
NDC以外の分類表の併用を廃止									1				1
システム改修	2	2				4			1				1
マニュアル修正	1					1							
ラベルデザイン変更	1					1			1				1
移行について職員で検討		1				1							
開館時より10版			2			2		2	1				3

桁数拡大		9				9	1						1
今後作業予定		2	1			3			1				1
作業委託		2			1	3							
書誌データの整備		1				1							
請求記号の仕様策定		3				3							
遡及作業は順次			1			1							
遡及作業対象を限定（「集計表B(3-1)付表②」を参照）	3	19	2			24	3	1	8	1			13
遡及変換せず	1	3				4			1				1
不詳		5				5	1		3		2		6
分類データ変更		5				5							
利用案内による周知									3				3

(集計表B(3-1)付表②) 遡及作業対象を限定した図書館の遡及作業対象分野（回答に明記されているもののみ）

	公共図書館					大学図書館							
	県立等	市区立	町村立	私立	その他	計	国立	公立	私立	短大	高専	その他	計
10版削除項目							3		1				4
開架資料		2				2		1					1
継続受入資料	2	7				9			3				3
高利用頻度		1				1							
手話		2				2							

B(3-2) 新訂10版への切り替え（使用を開始した）時期。

	公共図書館										大学図書館															
	都道府県立		市区立		町村立		私立		その他		計	国立大学		公立大学		私立大学		短期大学		高等専門学校		その他		計		
2015年	2	6.5%	87	9.0%	31	13.2%			1	10.0%	121	9.7%	21	30.9%	7	31.8%	38	23.5%	5	62.5%	9	42.9%			80	28.2%
2016年			27	2.8%	8	3.4%	1	20.0%	1	10.0%	37	3.0%	2	2.9%	3	13.6%	13	8.0%			3	14.3%	1	33.3%	22	7.7%
2017年	5	16.1%	290	29.8%	71	30.3%					366	29.2%	7	10.3%			15	9.3%			1	4.8%			23	8.1%
2018年	5	16.1%	128	13.2%	16	6.8%			1	10.0%	150	12.0%	7	10.3%	1	4.5%	16	9.9%	1	12.5%					25	8.8%
2019年	3	9.7%	116	11.9%	30	12.8%			2	20.0%	151	12.1%	13	19.1%	3	13.6%	18	11.1%			3	14.3%			37	13.0%
2020年	5	16.1%	169	17.4%	38	16.2%	3	60.0%	2	20.0%	217	17.3%	7	10.3%	1	4.5%	17	10.5%			1	4.8%			26	9.2%
2021年	6	19.4%	89	9.2%	24	10.3%	1	20.0%			120	9.6%	4	5.9%	2	9.1%	12	7.4%	1	12.5%	2	9.5%	1	33.3%	22	7.7%
2022年	2	6.5%	33	3.4%	13	5.6%			2	20.0%	50	4.0%	2	2.9%	4	18.2%	18	11.1%	1	12.5%	2	9.5%	1	33.3%	28	9.9%
2023年	3	9.7%	33	3.4%	3	1.3%			1	10.0%	40	3.2%	5	7.4%	1	4.5%	15	9.3%							21	7.4%
回答館数	31		972		234		5		10		1,252		68		22		162		8		21		3		284	

(無回答※)

(59)

(31)

(4)

(94)

(1)

(2)

(11)

(1)

(15)

※B(2-2) またはB(2-4) の回答が「新訂10版」で無回答

B(3-3) 分類の版の切り替えを行った際の問題点、切り替えを行わない理由等。（自由記入）

① NDC10版適用館による回答（注）複数の事項が記載された場合、それぞれの項目に計上

	公共図書館						大学図書館						
	県立等	市区立	町村立	私立	その他	計	国立	公立	私立	短大	高専	その他	計
10版で細分化された分野は書架に案内を掲示									1				1
10版で登録したものにはNDCの版を記載									1				1
10版で変更された項目にどう対応するかを検討が必要		5	2			7		1					1
10版と9版の間に大きな違いがない									1				1
10版と旧版の資料が混在	2	73	4			79	6		5				11
10版の手話・点字の分類変更は利便性に問題			1			1							
10版を適用していない分野がある		3				3							
10版を適用していない分野がある（4類の統合された主題）									1				1
10版を適用していない分野がある（910.2作品論）		1				1							
10版を適用していない分野がある（医学）								1					1
10版を適用していない分野がある（所蔵の多い分野）								1		1			2
10版を適用していない分野がある（点字・手話）		3				3							

10版を適用していない分野がある（独自に展開している分野）								1					1
10版を適用していない分野がある（利用の多い分野）		1							1				
10版以前のNDCもわかるようシステムの設定を変更		1							1				
10版収録のMARCが提供されたため切替			1						1				
10版収録のMARCが提供されるまでに時間がかかった		1							1				
8版から10版への切替は変更箇所が多い		1	1						2				
8版対応時のデータがずれて表示される		4							4				
MARCデータ変更に伴い10版を適用			1						1				
MARCの更新データ登録により書誌上の分類が空白になってしまうことがある		1							1				
システムが9版対応	1	1							2				
システムとMARCの連携作業が煩雑		2							2				
システム運用を外部委託しているため詳細不明			1						1				
システム更新が必要	1	1							2				
システム更新に合わせて切替		20	2						22				
システム更新に時間を要した		13							13				
システム対応、費用、作業量が不安		1							1				
データ移行がうまくいかないものがあった		2	2						4				
データ修正、ラベル貼替、配架調整などが困難		12							12				
データ修正、ラベル貼替、配架調整などが煩雑		1							1				
データ修正、ラベル貼替、配架調整などが必要										2			2
データ修正、ラベル貼替、配架調整などが必要なものの洗い出しが困難		2	1						3				
データ修正、ラベル貼替、配架調整などが必要なものの洗い出しが必要		1							1				
データ修正、ラベル貼替、配架調整などせず淘汰に任せているものがある		5							5				
データ修正、ラベル貼替、配架調整などにより分類が統一化された		10							10				
データ修正、ラベル貼替、配架調整などに時間・負担がかかる		21	3			1			25		4		4
データ修正、ラベル貼替、配架調整などの実施時期の検討に時間を要した		1							1				
データ修正、ラベル貼替、配架調整などの処理ミスが心配		5							5				
データ修正、ラベル貼替、配架調整などは開架資料に限定	1	9	1						11	2	1		3
データ修正、ラベル貼替、配架調整などは行わない	2	6	5						13	9	1	1	11
データ修正、ラベル貼替、配架調整などは新館移転時に行う		1							1				
データ修正、ラベル貼替、配架調整などは対象を限定		5							5				
データ修正、ラベル貼替、配架調整などをどこまで行うかの検討が必要		1							1				
データ修正、ラベル貼替、配架調整などを検討										2			2

データ修正, ラベル貼替, 配架調整などを分野ごとに検討						1					1
データ修正, ラベル貼替が困難		1				1					
データ修正, ラベル貼替に時間・負担がかかる		1				1			1		1
データ修正, ラベル貼替は業務に含めている									1		1
データ修正, ラベル貼替は新館移転時に行う		1				1					
データ修正, ラベル貼替は大幅に変わった分類のみ										1	1
データ修正が困難									1		1
データ修正の経費, 予算化が必要		1				1					
データ修正は書誌の機械的切替ができるもの(自館入力分以外)に限定		1				1					
データ修正は対象を限定		4				4					
データ修正を休館日に分割実施		6				6					
データ切替が先行, 後からラベル貼替		1				1					
プログラム変換のための対照表作成に時間を要した		2				2					
ラベル貼替, 配架調整が必要		4				4					
ラベル貼替, 配架調整などの経費, 予算化が必要		13				13					
ラベル貼替, 配架調整に時間・負担がかかる		6				6			1		1
ラベル貼替, 配架調整は対象を限定									1		1
ラベル貼替かサイン設置かで迷う		2				2					
ラベル貼替が困難なため書誌の分類のみ変更		1				1					
ラベル貼替が煩雑		1				1					
ラベル貼替が必要		6				6					
ラベル貼替に時間・負担がかかる		1	10	1		12			1		1
ラベル貼替の経費, 予算化が必要		2				2					
ラベル貼替をせず淘汰に任せているものがある		18				18					
ラベル貼替を検討		1				1					
ラベル貼替を行わなかったため, 分類記号と請求記号の不一致が発生				1		1					
ラベル貼替を返却時にカウンターで実施		1				1					
レファレンスの際新旧両方の請求記号を考慮する必要がある									1		1
委託仕様の変更が必要		3				3			4		4
異なる主題の資料が同じ場所に配架される									9		9
引継がなく詳細不明		6				6			2		2
開館間もなく蔵書数が少なかったため切替しやすかった									1		1
開館当初より10版を使用		3				3		1	3		4

看護分野での不適切言語の使用を避けたい									1			1
既存のデータとの整合性が課題			1			1					1	1
既存資料の状態は未点検			1			1						
規定の改訂に時間を要した		12				12						
規定の検討が必要		3				3						
業務が煩雑化する	1		1			2						
継続受入資料には旧版を適用	1					1	1		2		1	4
継続受入資料の配架が分かれる	2	2				4			2			2
継続受入資料の分類は変更		1				1						
継続受入資料の分類をどうするか									3			3
検索結果に漏れが生じる		5				5						
採用桁数を見直し	1	3	1			5			1			1
作業スペースの確保が必要		1				1						
作業療法の分類がなく困る									1			1
手話と一般的なことばとは分けて配架		1				1						
受託当初より10版を使用								1	1			2
所蔵資料の見直しができていない			1			1						
書架の並びが変わってしまう								1				1
新館移転に合わせて切替		1	1			2						
新主題がどの分類に該当するか判断に迷うことがある		1				1						
人員・時間・予算の確保が必要		1				1						
人員が不足している		1	1			2						
正誤表の確認に時間を要する									1			1
請求記号のみ変更し書誌のNDCは変更しなかった		1				1						
請求記号の再設定に際して連番の図書記号の採番管理に困難が生じた							1					1
切替が必要なほどの冊数がない		1				1						
切替に対応できていない分野もある		1				1						
切替のタイミングを見計らっている		1				1						
切替は徐々に行う		5	1			6			1	1		2
切替を各分館のペースで行ったため、複本の分類に不一致が生じた		1				1						
切替完了まで2つの版を併用									1			1
切替後間もないため問題点が上がっていない									1			1
切替作業が必要と思わなかった			1			1						

切替作業に時間を要する									1						1
切替作業計画の立案が困難		1				1									
対応できる職員が一部に限られる		1				1									
貸出中の資料の切替が困難		5				5									
統計に影響が出る			1			1									
同一主題の資料の配架が分かれる	2	26	3			31	3	2	14						19
特になし	1	48	21		1	71	5	3	8	1	2				19
独自に展開している項目がある		2				2			1						1
配架位置が大きく変わるものがある	1					1									
配架位置の継続性		2				2									
配架位置変更により資料を探しにくくなる		3				3									
配架位置変更になれるまでに時間がかかる		1				1									
配架調整が必要			2			2					1				1
配架調整とその周知が必要		5	1			6									
配架調整に時間・負担がかかる		4	1			5	1								1
配架調整に伴う除籍作業が発生		1				1									
版の切替ごとに分類の齟齬が蓄積する									1						1
費用がかかる			1			1									
利用者への資料提供に不備がないよう留意		1				1									
利用者への周知が必要		7				7									

② NDC10版適用館以外による回答 (注) 複数の事項が記載された場合、それぞれの項目に計上

	公共図書館						大学図書館						
	県立等	市区立	町村立	私立	その他	計	国立	公立	私立	短大	高専	その他	計
007 (情報科学) などよく使用される分類について影響が大きい		1				1							
10版で変更された項目にどう対応するかの検討が必要		1				1							
10版と9版の間に大きな違いがない		1				1	1	1					2
10版と9版の兼ね合いを考え切替を行っていない									2				2
10版と9版はだいぶ内容が異なる										1			1
10版と旧版の資料が混在		1				1							
10版に改訂されたことの認識が不足している			1			1							
10版の変更点に利便性が感じられない			1			1							
10版を適用しているという話を大学内で聞かない							1						1

10版を参考に分類付与している資料もある		1	1			2			2			2
11版以降で切替を予定		1				1						
492.9（看護学）の桁数が増え使いにくい								1				1
8版から9版への切替が不完全なため10版への切替が困難		4				4						
8版を使用しているがNIIに8版がない場合は10版または9版を使用									1		1	2
9版（8版，7版）で支障がない	2	10	7		1	20	3	2	6		1	12
9版に切替した際の精度に問題がある									1			1
9版の継続性を保つため切替を行わない							2					2
9版への切替から10年余りのため10版への切替は行わない	1					1						
NDCで分類している資料が少ない							1					1
システムが9版対応		2	1			3						
システム更新が必要		3				3						
システム更新に合わせて切替		25				25						
システム更新の予定がない		1				1						
システム対応に費用がかかる		10				10						
システム対応のための休館が必要		10				10						
データ修正，ラベル貼替，配架調整などが困難	1	16	3			20			6	1	2	9
データ修正，ラベル貼替，配架調整などが必要									2			2
データ修正，ラベル貼替，配架調整などが必要なものの洗い出しが困難											1	1
データ修正，ラベル貼替，配架調整などに時間・負担がかかる		4				4			4			4
データ修正，ラベル貼替，配架調整などの方針が未確定		1				1	1		2			3
データ修正，ラベル貼替，配架調整などを市内各図書館で統一に行うことが困難		1				1						
データ修正，ラベル貼替が困難									1		2	3
データ修正，ラベル貼替が必要		2				2						
データ修正，ラベル貼替に時間・負担がかかる											1	1
データ修正，配架調整が必要		1				1						
データ修正が困難			1			1						
データ修正が煩雑		2				2						
ラベル貼替，配架調整が困難		9	4			13	2				1	3
ラベル貼替，配架調整に時間・負担がかかる		1				1						
ラベル貼替が困難		19	1			20						
ラベル貼替が困難（研究室の資料）											1	1
ラベル貼替が煩雑			1			1						

ラベル貼替が必要			1			1			2				2
委託仕様の変更が必要			1			1							
委託先の切替のタイミングによる		1				1							
委託先業者が切替をしていない		5				5							
引継がなく詳細不明									1				1
絵本と児童書中心のため切替は行わない					1	1							
外部データに従っているため安易に切替をしない			1			1							
業務が煩雑化する		1				1							
業務の負担増となるため切替は行わない								1					1
継続受入資料の配架が分かれる	1					1							
継続受入資料の分類をどうするか									1				1
検索結果に漏れが生じる	1	5				6							
混乱を避けたい									1				1
時間やコストがかかるため切替を行わない								1					1
自治体、教育委員会の方針が未確定または未確認		2	2			4							
受入時期により使用する版が異なる									1				1
従来分類を基本としている			1			1							
新館移転に合わせて切替			1			1		1					1
人員が不足している		5	3			8	2		1				3
整理ができていないため既に所蔵している資料の変更ができない		1				1							
切替が困難			1			1				1			1
切替のタイミングがなかった			1			1							
切替のタイミングを見計らっている	1	1				2	1		1				2
切替のタイミングを逃した									1				1
切替の必要性、緊急性、メリットがない	1	6	3			10		1	6		1		8
切替は徐々に行う		1				1			1				1
切替を検討中、検討予定		7	1			8	1		3		1		5
切替を行うまたは検討する余裕、時間がない		9	3			12			3		1		4
切替を予定している		5				5			1				1
切替作業量が膨大		4				4							
長期保存されない資料や別置資料は分類の版にこだわらない											1		1
統計に影響が出る		5				5							
同一主題の資料の配架が分かれる		17		1		18	2		3				5

特になし		6	3			9	2		2				4
独自に展開している項目がある		2				2			1				1
配架調整が困難			1			1							
配架調整に時間・負担がかかる									1				1
配架方法の決定が困難		1				1							
複数の版が適用されているが特に支障はない									1				1
本館の方針による							1						1
利用者の便宜上切替を行わず、7版に新しい言葉を追加し対応							1						1

【C】分類作業の方法について

C(1-1) どのように分類作業（分類記号の付与作業）を行っているか、主なものを1つ選択。

- 1 基本的に自館で独自に分類作業（主題分析から分類記号付与）を行っている
- 2 自館で独自に分類作業を行う場合と、外部データ（MARC、総目録等）の分類を用いる場合がある（修正・加工する場合も含む）
- 3 基本的に外部データの分類を用いている（修正・加工する場合も含む）
- 4 中央館等で集中的に分類作業を行う方式であるため、自館では分類作業を行っていない
- 5 その他

	公共図書館										大学図書館																	
	都道府県立		市区立		町村立		私立		その他		計	国立大学		公立大学		私立大学		短期大学		高等専門学校		その他		計				
1 独自			22	1.4%	9	2.1%	2	28.6%	6	20.7%	39	1.9%	53	28.8%	9	13.8%	40	9.9%	2	7.7%	1	2.2%	4	30.8%	109	14.8%		
2 独自 + 外部	36	69.2%	569	36.2%	141	33.1%	4	57.1%	7	24.1%	757	36.3%	90	48.9%	33	50.8%	215	53.1%	14	53.8%	15	33.3%	6	46.2%	373	50.5%		
3 外部	16	30.8%	936	59.5%	270	63.4%	1	14.3%	12	41.4%	1,235	59.2%	18	9.8%	19	29.2%	127	31.4%	10	38.5%	29	64.4%	3	23.1%	206	27.9%		
4 集中処理			42	2.7%	5	1.2%			1	3.4%	48	2.3%	19	10.3%			21	5.2%							40	5.4%		
5 その他			4	0.3%	1	0.2%			3	10.3%	8	0.4%	4	2.2%	4	6.2%	2	0.5%									10	1.4%
回答館数	52		1,573		426		7		29		2,087		184		65		405		26		45		13		738			

(無回答※)

(14)

(1)

(15)

(0)

※B(1)の回答が1, 2, 3で無回答

(集計表C(1-1)付表) 「5 その他」の回答内容

	公共図書館						大学図書館						
	県立等	市区立	町村立	私立	その他	計	国立	公立	私立	短大	高専	その他	計
外部データに自館分類を追加		1				1							
外部データ利用、一部資料は自館分類		2				2	1						1
外部データ利用、一部資料は中央館分類		1				1							
外部データ利用、自館分類、業者委託併用							1						1
業者委託					2	2		4					4
購入図書は中央館、寄贈図書は自館で分類							1						1
他館所蔵を参考に自館で分類									1				1

C(1-2) C(1-1)で2または3を選択した場合、分類作業において外部データの分類を主にどのように用いているか、主なものを1つ選択。

- 1 参考にはするが、自館で分類付与を行う
- 2 配架用・検索用の分類記号を自館用に修正・加工
- 3 配架用の分類記号を自館用に修正・加工
- 4 検索用の分類記号を自館用に修正・加工
- 5 外部データをそのまま用いる
- 6 その他

	公共図書館							大学図書館																		
	都道府県立		市区立		町村立		私立	その他	計	国立大学		公立大学		私立大学		短期大学	高等専門学校		その他	計						
1 参考のみ	9	17.3%	99	6.5%	25	6.1%	6	100.0%	2	10.0%	141	7.0%	70	60.9%	25	48.1%	139	39.7%	8	33.3%	13	28.9%	4	44.4%	259	43.5%
2 配架・検索用とも加工	27	51.9%	825	53.9%	188	45.7%			3	15.0%	1,043	51.7%	28	24.3%	19	36.5%	142	40.6%	10	41.7%	20	44.4%	5	55.6%	224	37.6%
3 配架用を加工	9	17.3%	177	11.6%	28	6.8%			2	10.0%	216	10.7%	10	8.7%			14	4.0%	1	4.2%	3	6.7%			28	4.7%
4 検索用を加工			3	0.2%	3	0.7%					6	0.3%					2	0.6%			1	2.2%			3	0.5%
5 そのまま使用	4	7.7%	373	24.4%	159	38.7%			13	65.0%	549	27.2%	7	6.1%	8	15.4%	51	14.6%	5	20.8%	7	15.6%			78	13.1%
6 その他	3	5.8%	53	3.5%	8	1.9%					64	3.2%					2	0.6%			1	2.2%			3	0.5%
回答館数	52		1,530		411		6		20		2,019		115		52		350		24		45		9		595	

(無回答※)

(0)

(1)

(1)

※C(1-1)の回答が2, 3で無回答

(集計表C(1-2)付表) 「6 その他」の回答内容

	公共図書館						大学図書館						
	県立等	市区立	町村立	私立	その他	計	国立	公立	私立	短大	高専	その他	計
一部自館付与	1	2				3							
一部修正	1	25	4			30							
一部独自分類付与		10	1			11			1			1	2
一部配架用に修正		8	1			9			1				1
郷土資料、絵本は修正			1			1							
郷土資料、児童書は修正		1				1							
郷土資料は自館付与		1				1							
郷土資料は修正	1	1	1			3							
郷土資料は独自分類付与		3				3							
自館の以前の分類に合わせる		1				1							
自館仕様に合わせた分類作成を委託		1				1							

C(1-3) C(1-2)で2~4のいずれかを選択した場合、外部データを自館用に修正・加工する理由。複数選択可。

- 1 自館で適用している分類法の版に合わせる
- 2 自館の規定に合わせる
- 3 桁数を調整する
- 4 その他

(複数回答の組み合わせ別回答館数は別表1を参照。)

	公共図書館						大学図書館																			
	都道府県立		市区立		町村立		私立		その他		計		国立大学		公立大学		私立大学		短期大学		高等専門学校		その他		計	
1 版	6	21.4%	113	14.9%	30	23.3%	1	50.0%	2	100.0%	152	16.5%	26	72.2%	8	50.0%	83	66.9%	2	40.0%	9	47.4%	4	100.0%	132	64.7%
2 自館の規定	22	78.6%	634	83.4%	92	71.3%	2	100.0%			750	81.4%	25	69.4%	8	50.0%	82	66.1%	3	60.0%	10	52.6%			128	62.7%
3 桁数	21	75.0%	576	75.8%	94	72.9%					691	75.0%	27	75.0%	10	62.5%	79	63.7%	4	80.0%	11	57.9%	2	50.0%	133	65.2%
4 その他	5	17.9%	44	5.8%	11	8.5%					60	6.5%	3	8.3%	3	18.8%	10	8.1%			3	15.8%			19	9.3%
回答館数	28		760		129		2		2		921		36		16		124		5		19		4		204	
(無回答※)	(9)		(281)		(102)		(4)		(396)		(10)		(6)		(49)		(6)		(7)		(2)		(80)			

※C(1-2)の回答が2, 3, 4で無回答

(集計表C(1-3)付表) 「4 その他」の回答内容 (注) 複数の事項が記載された場合、それぞれの項目に計上

	公共図書館						大学図書館						
	県立等	市区立	町村立	私立	その他	計	国立	公立	私立	短大	高専	その他	計
絵本に主題分類を適用			3			3							
郷土資料の分類調整			5			5							
継続性のある資料の分類を揃える	2		9			11	1		1			2	4
桁数変更	1					1							
資料の内容から判断	1	3	1			5							
自館の基準に合わせる									3				3
自館の分類傾向に合わせる		1	1			2	1	1	1			1	4
書架分類のみ一部修正		1				1							
専攻分野に合わせる									3				3
他館に合わせる		1				1							
配架場所に合わせる		1	2			3							
複数の分類法を使用									1				1
分野により適用するNDCの版を変更		1				1							
分野により独自分類を適用		4				4						1	1
分野により独自分類を適用 (郷土資料)	3	2				5							

別置記号の追加		7	1			8		1				1
利用者の利便性・利用のされやすさ		17	6			23		1	1			2
自館で分類作業を行っていない							1					1

C(1-4) これまでの問C(1-1~3)に関して、主に利用している外部データ、システム等の主なものを1つ選択。

- 1 JAPAN/MARC等のNDLのデータ、システム
- 2 TRC MARC
- 3 1および2以外のMARC
- 4 NACSIS-CAT
- 5 その他

	公共図書館										大学図書館															
	都道府県立		市区立		町村立		私立		その他		計	国立大学		公立大学		私立大学		短期大学		高等専門学校		その他		計		
1 NDLのデータ	1	1.9%	10	0.6%	25	6.0%	2	66.7%	11	50.0%	49	2.4%	3	1.8%	2	3.1%	27	7.1%	6	23.1%	2	4.4%	1	8.3%	41	5.9%
2 TRC MARC	39	75.0%	1,394	89.6%	353	84.9%	1	33.3%	9	40.9%	1,796	87.7%					13	3.4%	1	3.8%					14	2.0%
3 その他のMARC	11	21.2%	140	9.0%	24	5.8%			1	4.5%	176	8.6%													0	0.0%
4 NACSIS-CAT	1	1.9%	2	0.1%							3	0.1%	162	97.0%	58	90.6%	334	88.4%	19	73.1%	43	95.6%	11	91.7%	627	90.6%
5 その他			10	0.6%	14	3.4%			1	4.5%	25	1.2%	2	1.2%	4	6.3%	4	1.1%							10	1.4%
回答館数	52		1,556		416		3		22		2,049		167		64		378		26		45		12		692	
(無回答※)			(31)		(9)		(4)		(6)		(50)		(16)		(1)		(26)						(1)		(44)	

※B(1)の回答が1, 2, 3で無回答

(集計表C(1-4)付表) 「5 その他」の回答内容

	公共図書館						大学図書館						
	県立等	市区立	町村立	私立	その他	計	国立	公立	私立	短大	高専	その他	計
MARC移行中			1			1							
NACSIS-CATの参照MARC							2						2
トーハンMARC		8	6			14							
横断検索システム			1			1							
国立国会図書館のデータ			4			4							
国立国会図書館のデータ+NACSIS-CAT									1				1
国立国会図書館のデータ+トーハンMARC		1				1							
特になし			3		1	4		4	2				6
複数利用									1				1

C(2-1) NDCを適用している図書館で配架用の分類の桁数の上限を設けているか。最大桁数を1つ選択。

	公共図書館										大学図書館															
	都道府県立		市区立		町村立		私立		その他		計		国立大学		公立大学		私立大学		短期大学		高等専門学校		その他		計	
1～2桁			18	1.2%	12	3.0%					30	1.5%	1	0.7%	2	3.1%	4	1.1%			3	6.7%			10	1.5%
3桁			111	7.2%	121	29.9%	3	50.0%	12	50.0%	247	12.2%	3	2.0%	1	1.5%	8	2.2%	1	3.8%	3	6.7%	3	42.9%	19	2.9%
4桁	8	15.4%	633	41.3%	166	41.0%	1	16.7%	1	4.2%	809	40.0%	16	10.5%	2	3.1%	13	3.6%	2	7.7%	2	4.4%			35	5.3%
5桁	17	32.7%	491	32.0%	46	11.4%					556	27.5%	10	6.5%	16	24.6%	47	12.9%	1	3.8%	9	20.0%			83	12.6%
6桁	16	30.8%	116	7.6%	15	3.7%					147	7.3%	36	23.5%	11	16.9%	78	21.4%	7	26.9%	4	8.9%	2	28.6%	138	20.9%
7桁	3	5.8%	40	2.6%	3	0.7%					46	2.3%	26	17.0%	8	12.3%	53	14.5%	3	11.5%	2	4.4%	1	14.3%	93	14.1%
8桁	1	1.9%	2	0.1%							3	0.1%	4	2.6%	6	9.2%	16	4.4%							26	3.9%
9桁					1	0.2%			1	4.2%	2	0.1%	2	1.3%			7	1.9%							9	1.4%
制限なし	6	11.5%	74	4.8%	37	9.1%	2	33.3%	8	33.3%	127	6.3%	55	35.9%	19	29.2%	138	37.8%	12	46.2%	22	48.9%	1	14.3%	247	37.4%
その他	1	1.9%	49	3.2%	4	1.0%					54	2.7%					1	0.3%							1	0.2%
回答館数	52		1,534		405		6		24		2,021		153		65		365		26		45		7		661	
(無回答※)			(39)		(15)				(2)		(56)		(4)				(17)						(1)		(22)	

※B(2-1)またはB(2-3)の回答が1で無回答

(集計表C(2-1)付表) 「その他」の回答内容

	公共図書館						大学図書館						
	県立等	市区立	町村立	私立	その他	計	国立	公立	私立	短大	高専	その他	計
3桁～4桁			1			1							
基本4桁		11				11							
中央館4桁, 地域館3桁		1				1							
一般書4桁, 児童書3桁		1	1			2							
一般書5桁, 児童書2桁		1				1							
一般書5桁, 児童書3桁			1			1							
5桁, 007 (情報学) は7桁		15				15							
10桁									1				1
分野により異なる		1				1							

C(2-2) NDCを適用している図書館で検索用の分類の桁数の上限を設けているか。最大桁数を1つ選択。

	公共図書館										大学図書館															
	都道府県立		市区立		町村立		私立		その他		計		国立大学		公立大学		私立大学		短期大学		高等専門学校		その他		計	
1～2桁			29	1.9%	12	3.1%					41	2.1%			1	1.6%	3	0.8%			3	6.7%			7	1.1%
3桁			98	6.5%	98	24.9%	2	40.0%	8	38.1%	206	10.4%	2	1.3%	3	4.7%	15	4.2%	2	8.0%	3	6.7%	1	14.3%	26	4.0%
4桁	2	3.8%	383	25.3%	106	27.0%			1	4.8%	492	24.8%	6	4.0%	2	3.1%	8	2.2%	2	8.0%	2	4.4%			20	3.1%
5桁	5	9.6%	286	18.9%	34	8.7%			1	4.8%	326	16.4%	6	4.0%	13	20.3%	30	8.3%			5	11.1%	1	14.3%	55	8.4%
6桁	6	11.5%	98	6.5%	17	4.3%					121	6.1%	18	12.0%	10	15.6%	61	16.9%	6	24.0%	1	2.2%	1	14.3%	97	14.9%
7桁	1	1.9%	40	2.6%	8	2.0%					49	2.5%	14	9.3%	6	9.4%	31	8.6%	3	12.0%	2	4.4%			56	8.6%
8桁	1	1.9%	9	0.6%	1	0.3%					11	0.6%	3	2.0%	5	7.8%	11	3.0%							19	2.9%
9桁			21	1.4%	1	0.3%			2	9.5%	24	1.2%					4	1.1%							4	0.6%
制限なし	36	69.2%	523	34.6%	114	29.0%	3	60.0%	9	42.9%	685	34.5%	100	66.7%	24	37.5%	197	54.6%	12	48.0%	29	64.4%	4	57.1%	366	56.1%
その他	1	1.9%	25	1.7%	2	0.5%					28	1.4%	1	0.7%			1	0.3%							2	0.3%
回答館数	52		1,512		393		5		21		1,983		150		64		361		25		45		7		652	
(無回答※)			(61)		(27)		(1)		(5)		(94)		(8)		(1)		(21)		(1)				(1)		(32)	

※B(2-1)またはB(2-3)の回答が1で無回答

(集計表C(2-2)付表) 「その他」の回答内容

	公共図書館						大学図書館						
	県立等	市区立	町村立	私立	その他	計	国立	公立	私立	短大	高専	その他	計
基本4桁		11				11							
一般書4桁, 児童書3桁		1	1			2							
10桁		1				1							
30桁	1					1							
検索用の分類なし									1				1
設けていない		1				1							

C(2-3) NDCの適用にあたって、分野によって桁数を変えるなど、図書館としての適用方針があれば記入してください。（自由記入）

（「原則的桁数」別回答内容は別表2を参照。）

（注）複数の事項が記載された場合、それぞれの項目に計上。「3類」、「社会科学」は、いずれも「300 / 399」のように、NDCの分類記号（の範囲）に置き換えて表記。

	公共図書館					大学図書館							
	県立等	市区立	町村立	私立	その他	計	国立	公立	私立	短大	高専	その他	計
002 / 089 : 3桁									1				1
002 / 089 : 5桁											1		1
002 / 089 : 6桁												1	1
007 : 547 / 548を使用		1				1							
007 : 549.92で独自分類											1		1
007 : 5桁		2				2							
007 : 6桁	2	3	1			6			1				1
007 : 7桁		29				29	1		1				2
007 : NDC10版を使用							5	1					6
007 : 桁数を増やす		2	1			3							
007 : 桁数制限なし		1				1							
007 : 桁数制限なし, 007.をxに置換		1				1							
007 : 独自に展開			1			1							
007 : 独自分類		2				2							
007 : 別法 (548.9, 548.1) を使用							2						2
007.6 : 5桁		1				1		1					1
007.6 : 6桁		4				4							
007.6 : 7桁		1				1							
007.6 : 桁数制限なし		1				1							
007.607 / .609 : 6桁								1					1
007.638 : 7桁									2				2
100 / 139 : 3桁							1						1
100 / 199 : 4桁									1				1
100 / 199 : 6桁												1	1
160 / 199 : 分野により桁数変更							1						1
188 : 4桁		3				3							
190 / 199 : 5桁									1				1

198 : 4桁									1				1
200 / 279 : 4桁		6	1			7							
200 / 279 : 5桁		1				1							
200 / 279 : 桁数を増やす		1				1							
200 / 279 : 桁数変更				1		1							
200 / 299 : 4桁	1	9	5			15							
200 / 299 : 5-6桁							1		1				2
200 / 299 : 5桁	2	12	1			15							
200 / 299 : 6桁	2					2						1	1
200 / 299 : 7桁										1			1
200 / 299 : 桁数変更		1				1							
200 / 299 : 独自の運用		1				1							
200 / 299 (223 / 229を除く) : 4桁									1				1
200 / 299の一部 : 4-5桁		3				3							
200 / 299の一部 : 4桁		3				3							
200 / 299の一部 : 5桁		7				7							
209 / 210 : 4桁		6				6							
210 / 219 : 4桁		24	3			27							
210 / 219 : 5桁	1	21	2			24							
210 / 219 : 6桁			1			1							
210 / 219 : ジャンルごとに分類		1				1							
210 / 219 : 桁数を増やす		1				1							
210 / 219 : 桁数制限なし				1		1							
210 / 219 : 桁数変更		1				1							
210 / 219の一部 : 5桁		1				1							
210 : 4桁		64	2			66			1				1
210 : 5桁		13	1			14							
210 : 5桁 (先頭の210をHに置換し3桁)		6				6							
210 : 桁数変更		3				3							
210.01 / .09 : 5-6桁	2					2							
210.01 / .09 : 5桁		1				1							
210.025 : 独自の適用方針による							1						1
210.08 : 6桁		1				1							

210.088 : 6桁	2					2			1				1
210.1 / .7 : 211 / 217に置き換え		1				1							
210.3 / .5 : 5桁		1				1							
210.7 : 5桁		1				1							
211 / 219 : 2191 / 2199に置き換え		1				1							
217.2 : 4桁		1				1							
223 / 229 : 6桁									1				1
289 : 3桁		17				17			1				1
289 : 4桁		43	1			44			1				1
289 : B+被伝者名カナ2文字		1				1							
289 : ジャンルごとに分類		1				1							
289 : 独自の適用方針による							1						1
289 (289.1を除く) : 3桁		8				8							
290 / 299 : 4-5桁		2				2							
290 / 299 : 4桁		5	1			6							
290 / 299 : 5桁		1				1							
290 / 299 : 桁数を増やす		1				1							
290 : 4桁		4				4							
291 / 297 : 4桁		1				1							
291 / 299 : 4桁		3				3							
291 : 4-5桁		1				1							
291 : 4桁		25	1			26							
291 : 5桁		9				9							
291 : 桁数変更		1				1							
291 (ガイドブックのみ) : 4桁		1				1							
291.01 / .09 : 5-6桁	2					2							
291.3 : 5桁		1				1							
291.7 : 4桁		1				1							
292 / 297 : 4桁		2				2							
300 / 399 : 4桁		3	1			4			5				5
300 / 399 : 5桁		7	1			8			1				1
300 / 399 : 6-7桁							1						1
300 / 399 : 6桁		1				1						1	1

300 / 399 : 7桁									1		1
300 / 399 : 桁数を増やす									1		1
300 / 399 : 桁数変更		1				1					
300 / 399 (335 / 336を除く) : 4桁									1		1
300 / 399のうち地理区分のあるもの : 6桁									1		1
300 / 399の一部 : 4桁		1				1					
300 / 399の一部 : 5-6桁									1		1
300 / 399の一部 : 桁数変更		1				1					
302 : 4桁		8				8					
302 : 5桁		9				9					
302 : 桁数を増やす		1				1					
312 : 独自の運用		1				1					
316.1 : 4桁		1				1					
319 : 6桁以上									1		1
319 : 7桁									2		2
319 : 8桁									1		1
319 : 9桁							1				1
330 / 339 : 4桁		6				6					
335 / 336 : 5桁		1				1			3		3
335 / 339 : 5桁		1				1					
335.48 : 5桁		2	1			3					
336 : 4桁		6	1			7					
338 : 4桁		1				1					
361 : 4桁		1				1					
361 : 5桁		6				6					
361.8 : 4桁		1				1					
361.86 : 5桁		1	3			4					
364 / 369 : 5桁		1				1					
365 : 4桁		3				3					
366 : 4桁		3				3					
366 : 5桁		1				1					
366.29 : 5桁		1				1					
367 / 369 : 4桁		1				1					

367 / 369 : 4桁以上			1			1						
367 : 4-5桁			1			1						
367 : 4桁			15	1		16						
367 : 5桁			1			1						
369 : 4-5桁			3	1		4						
369 : 4桁			16	3		19						
369 : 5桁			22	1		23						
369 : 7桁										1		1
369 : 桁数を増やす			1			1						
369 : 桁数変更			1			1						
369 : 分野ごとに4桁目を変更			1			1						
370 / 379 : 6桁										1		1
370 / 379 : 7桁										1		1
370 / 379 : 教育分野とも他分野ともとれる場合教育の下に収める							1					1
371.5 : 4桁			1			1						
375 / 376 : 4桁			1			1						
375 : 7桁							1					1
376 : 5桁			1			1						
376 : 6桁										1		1
376.1 : 6桁										1	1	2
376.159 : 二者択一記号を使用										1		1
379 : 5桁			1			1						
392 : 7桁							1					1
400 / 499 : 3桁										1		1
400 / 499 : 4桁			1	1		2						
400 / 499 : 5桁			1	4		5					1	1
400 / 499 : 5桁以上											1	1
400 / 499 : 桁数を増やす			4			4						
400 / 499 : 桁数変更			1			1						
400 / 499の一部 : 4-5桁			1			1						
400 / 499の一部 : 4桁		1				1						
400 / 499の一部 : 5-6桁										1		1
400 / 499の一部 : 5桁			1	1		2						

400 / 499の範囲の資料を受入						1						1
480 / 489 : 桁数変更			1			1						
483 / 489 : 5桁			1			1						
490 / 492 : 4桁			1			1						
490 / 494 : 4桁			1			1						
490 / 498 : 4-5桁			1			1						
490 / 498 : 5桁				1		1						
490 / 499 : 4-5桁			2			2						
490 / 499 : 4-6桁			1	1		2						
490 / 499 : 49をMに置き換え									1			1
490 / 499 : 4桁			38	4		42						
490 / 499 : 5桁			26	4		30						
490 / 499 : 6桁			2	3		5						
490 / 499 : 7桁									1			1
490 / 499 : NDC10版を使用									1			1
490 / 499 : NLMCを使用									2			2
490 / 499 : 桁数を増やす			16	2		18			2			2
490 / 499 : 桁数制限なし			1			1						
490 / 499 : 桁数変更				1		1						
490 / 499 : 分野ごとに4桁目を変更			1			1						
490 / 499の一部 : 4桁			1			1						
490 / 499の一部 : 6桁								1				1
490 / 499の一部 : 桁数変更			1			1						
490 : 5桁			1			1						
490 : 桁数変更			3			3						
491 / 493 : 桁数を増やす			1			1						
491 : 4桁			1			1						
492.9 : 5桁				1		1						
492.9 : 6桁								1	3			4
492.9 : 7桁								2	1	1		4
492.9 : N								2	2			4
492.9 : 桁数を増やす									1			1
492.9 : 桁数変更									1			1

492.9 : 日本看護図書館協会看護学図書分類表を使用								1				1
492.9 : 背ラベルの視認性を考慮								1				1
492.9015 : 7桁									1			1
492.9079 : 7桁									1			1
493 / 494 : 4桁		2				2						
493 / 494 : 5桁		1				1						
493 / 497 : 6桁			1			1						
493 / 498 : 4桁		1				1						
493 / 498 : 5桁		1				1						
493 / 499 : 4桁		1				1						
493 / 499 : 6桁		1				1						
493 : 4桁		30	2			32						
493 : 5桁		17	1			18						
493 : 6桁			2			2						
493.7 : 5桁			2			2						
493.758 : 6桁		1				1						
494 / 499 : 4桁		1				1						
495 : 5桁			2			2						
497 : 独自に細分									1			1
498 : 3桁+漢字1文字			1			1						
498 : 4桁		21	1			22						
498 : 5桁		14	1			15						
498.3 : 5桁		1	1			2						
498.5 : 5桁		1				1						
498.5 : 桁数変更									1			1
499 : 独自分類							1					1
500 / 599 : 3-4桁									1			1
500 / 599 : 3桁									2			2
500 / 599 : 4桁		5	1			6						
500 / 599 : 5桁			1			1				1		1
500 / 599 : 5桁以上										1		1
500 / 599 : 桁数を増やす		4				4						
500 / 599の一部 : 4-5桁		3				3						

500 / 599の一部 : 4桁	1					1							
500 / 599の一部 : 5-6桁										1			1
500 / 599の一部 : 5桁		1	1			2							
547 / 548 : 5桁		1				1							
547.3 : 4桁		2				2							
547.48 : 007.9を使用		1				1							
547.7 / .8 : 4桁		2				2							
548.2 / .3 : 4桁		2				2							
573.5 : 5桁		25				25							
582.3 : 4桁		2				2							
586 : 4桁		1				1							
588 : 5桁		1				1							
590 / 592 : 4桁		1				1							
590 / 599 : 3桁			1			1							
590 / 599 : 4-6桁		1				1							
590 / 599 : 4桁		7				7							
590 / 599 : 5桁		1	1			2							
590 / 599 : 桁数を増やす		13				13							
590 / 599 : 独自の運用		1				1							
590 / 599の一部 : 5桁			1			1							
593 / 594 : 4桁		11	2			13							
593 / 594 : 5桁		1				1							
593 / 596 : 3桁			1			1							
593 / 596 : 4-5桁		2				2							
593 / 596 : 4桁		2				2							
593 / 597 : 4桁		1				1							
593 : 4桁		4				4							
593 : 5桁		2				2							
593 : S		1				1							
594 / 595 : 4桁		1				1							
594 : 3桁+漢字1文字			1			1							
594 : 4-5桁		1	1			2							
594 : 4桁		9				9							

594 : 5桁		2	2			4							
594 : H		1				1							
594 : 桁数を増やす		1				1							
594 : 桁数制限なし		1				1							
594 : 桁数変更		1				1							
596 : 3-5桁		1				1							
596 : 3桁+漢字1文字			1			1							
596 : 4-5桁		1	1			2							
596 : 4-6桁		1				1							
596 : 4桁		22	1			23							
596 : 4桁以上			1			1							
596 : 5桁		37	6			43							
596 : 5桁 (NDCに準じた独自分類)			1			1							
596 : 6桁			1			1							
596 : C		1				1							
596 : 桁数を増やす		1	2			3							
596 : 桁数制限なし		1				1							
596.2 : 5桁		4				4							
597 / 599 : 4桁		1				1							
5桁目が0の場合4桁にする								1					1
600 / 699 : 3-4桁									1				1
600 / 699 : 3桁									1				1
600 / 699の一部 : 4-5桁		1				1							
615.8 : 4桁		1				1							
616.2 : 4桁		1				1							
620 / 629 : 4桁		1				1							
625 / 627 : 5桁		1				1							
627.7 / .8 : 4桁		1				1							
645 : 4桁		1				1							
645 : 独自に細分										1			1
649 : 独自に細分										1			1
660 / 669 : NDC6版を使用							1						1
666 : 4桁		1				1							

670 / 678 : 桁数を増やす		1				1						
673 : 3桁+漢字1文字			1			1						
673 : 5桁		1				1						
673 : 桁数を増やす		1				1						
673.9 : 5桁		1				1						
6桁以上は背ラベルの印刷が困難									1			1
700 / 759 : 5桁		1				1						
700 / 779 : 6桁								1				1
700 / 799 : 3桁									1			1
700 / 799 : 4桁		1	1			2						
700 / 799の一部 : 5桁			1			1						
702 : 5桁		4				4						
720 / 729 : 4桁		1				1						
724 / 725 : 4桁		1				1						
726 : 4桁		1				1						
726 : 5桁		1				1						
726 : 5桁 (NDCに準じた独自分類)			1			1						
726.1 : 4桁		1	1			2						
726.1 : M		3				3						
726の一部 : M		1				1						
754 : 4桁		1				1						
760 / 769 : 独自の運用		1				1						
763 / 764 : 4桁		1				1						
763 : 4桁		2				2						
778 : 4桁		2				2						
778 : 独自の運用		1				1						
780 / 789 : 4-5桁			1			1						
780 / 789 : 4桁		6	1			7						
780 / 789 : 5桁		1				1						
780 / 789 : 6桁									1			1
780 / 789 : 桁数変更			1			1						
780 / 789 : 分野ごとに4桁目を変更		1				1						
783 / 784 : 4桁		1				1						

783 : 4桁		25	1			26							
783 : 5桁		2	1			3							
783 : 桁数変更		3				3							
786 : 4桁		1				1							
787 : 5桁		1				1							
788 : 4桁		1				1							
800 / 899 : 4桁		1				1							
800 / 899 : 6桁											1		1
800 / 899 : 独自分類							1						1
801.9 : 5桁		13				13							
813 : 4桁		4				4							
829 : 4桁		1				1			3				3
829 : 6桁									1				1
9□1 / 9□8 : 形式区分は使用しない									1				1
9□1 / 9□8 (日本文学以外) : 時代区分は使用しない										1			1
9□1 : 4桁		1	1			2							
9□1 : ジャンルごとに分類		1				1							
9□2 : 3桁		2				2							
9□3 / 9□6 (913 / 916を除く) : N		2				2							
9□3 / 9□8 : 9□0			1			1							
9□3 : 3桁		8				8							
9□3 : F	1	7			1	9							
9□3 : 著者名カナ2文字		4				4							
9□3 : 分類記号を代替文字に置き換え			2			2							
9□3 : 別置記号を使用		1				1							
9□3 : 別表記		2				2							
9□3 (□=3-9) : 3桁		4				4							
9□4 : カリキュラムに沿うものは主題により分類									1				1
9□6 : カリキュラムに沿うものは主題により分類									1				1
9□7 : 3桁		2				2							
900 / 909 : 3桁		1				1							
900 / 999 : 3桁		1				1			1				1
900 / 999 : 3桁+著者名カナ2文字		1				1							

900 / 999 : 4桁	1	12	5			18							
900 / 999 : 5-6桁									1				1
900 / 999 : 5桁	2	17				19					1		1
900 / 999 : 6桁	2	2	1			5						1	1
900 / 999 : 桁数制限なし									1				1
900 / 999 : 独自の運用		1				1							
900 / 999 : 独自分類		1				1	1						1
900 / 999の一部 : 4-5桁		3				3							
900 / 999の一部 : 4桁		2				2							
900 / 999の一部 : 5-6桁											1		1
900 / 999の一部 : 5桁		9				9							
900 / 999の一部 : 桁数変更			2			2							
903 / 908 : 3桁		3				3							
910 / 914 : 桁数変更		3				3							
910 / 914 (913.6を除く) : 4桁		2				2							
910 / 915 : 4桁		2				2							
910 / 917 : 4桁		1				1							
910 / 919 : 4桁		35	3			38							
910 / 919 : 4桁 (先頭の91をJに置換し3桁)		9				9							
910 / 919 : 5桁	1	11				12							
910 / 919 : 5桁 (先頭の91をJに置換し4桁)		1				1							
910 / 919 : 5桁 (先頭の91をNに置換し4桁)		6				6							
910 / 919 : 6桁		7				7							
910 / 919 : 桁数制限なし		1	1			2							
910 / 919 : 桁数変更		1	1			2							
910 / 919の一部 : 5桁		1				1							
910 / 959 : 4桁		3				3							
910 : 3桁+漢字1文字				1		1							
910 : 4桁		22				22							
910 : 5桁		6				6							
910 : 桁数制限なし	1					1							
910.2 : 5-6桁	2					2							
910.2 : 5桁		13				13							

910.26 : 5桁			1			1							
910.26 : 6桁			1			1							
910.268 : 6桁	5	11				16			1				1
910.268 : 910.28を使用	1					1							
910の一部 : 4桁			1			1							
911 / 915 : 4桁			1			1							
911 : 3桁+漢字1文字				1		1							
911 : 4-5桁			1			1							
911 : 4桁		28	2			30							
911 : 5桁			5			5							
911 : 6桁			1			1							
911 : 桁数制限なし			1			1			3				3
911 : 桁数変更			2			2							
911.1 : 5桁	1	10				11							
911.1 : 6桁	1					1							
911.1 : 桁数制限なし			1			1							
911.135 : 7桁												1	1
911.168 : 6桁									1				1
911.3 : 5桁			5			5							
911.3 : 6桁	1					1							
911.4 : S				1		1							
912 / 915 : 4桁			2			2							
912.4 / 918.6 : 4桁			1			1							
913 / 914 : 2桁			1			1							
913 / 915 (913.6を除く) : 5桁			1			1							
913 / 917 : F			5			5							
913 : 3桁			1			1							
913 : 4桁			10	1		11							
913 : F	2	2	3			7							
913 : 著者名カナ2文字			1			1							
913 : 著者名カナ3文字			1			1							
913 (913.6を除く) : 4桁			3			3							
913.36 / .37 : 6桁			1			1							

913.6:3桁		1			1						
913.6:4桁		2	1		3						
913.6:913.61/.65の細分は適用しない						1					1
913.6:F	2	68	7		77						
913.6:F+著者名カナ2文字		1			1						
913.6:F1		1			1						
913.6:図書記号(著者名)付与		1			1						
913.6:図書記号(著者名2文字)のみ			2		2						
913.6:図書記号のみ		2			2						
913.6:著者名が1-2字姓のときは1-2桁		1			1						
913.6:著者名カナ2文字		1			1						
913.6:配架用は図書記号のみ		1			1						
913.68:5桁		8	1		9						
913.68:918.6	2				2						
913.68:F		6			6						
913.6作品論:910			1		1						
913.6作品論:910.26	2	15			17						
914:4桁		1			1						
914.6:4桁		2			2						
914.6:E		3			3						
914.6:F		7	1		8						
914.6:Z			1		1						
914.6:図書記号(著者名)付与		1			1						
914.6:著者名カナ2文字		1			1						
915.3/915.5:8桁		1			1						
915.6:E		2			2						
916:E		2			2						
918:4桁		1			1						
918:5桁		7			7						
918.68:5桁		2			2						
920/999:3桁		5	1		6						
920/999:三次区分を11種類に限定								1			1
920:3桁		1			1						

922 / 999 : 3桁		1				1							
923.6 / .7 : F2		1				1							
923.7 : 920			1			1							
929 : 6桁									1				1
929.1 : 5桁		1				1							
930 / 938 : 6桁									1				1
930 / 999 : 独自分類							1						1
931 / 938 : 3桁		1				1							
933 : 4桁		4				4							
933 : 図書記号 (著者名) 付与		1				1							
933.6 / .7 : F3		1				1							
939 : 二者択一記号を使用									1				1
941 / 948 : 3桁		1				1							
943.6 / .7 : F4		1				1							
949 : N		2				2							
951 / 958 : 3桁		1				1							
953.6 / .7 : F5		1				1							
959 : N		2				2							
963 : F6		1				1							
969 : N		2				2							
973 : F7		1				1							
979 : N		2				2							
983 : F8		1				1							
989 : N		2				2							
991 / 992 : N		2				2							
DVD : 3桁		3				3							
NDC10版をベースとした独自分類表の作成		1				1							
NDC6, 7版が使用されている図書の遡及修正は行わない							1						1
TRCからのデータにより11桁を採用			1			1							
エッセイ : Z						1							
エッセイ : 著者名カナ2文字		4				4							
エッセイ : 別表記		2				2							
エプロンシアター : ET		4				4							

カード類：CA		1			1						
カラーラベルの色により分類			1		1						
カリキュラム編成，資料選定基準に従い桁数を設定								1			1
コミック：C		3			3						
シリーズもの：巻冊記号を付加		1			1						
パネルシアター：PT		4			4						
ピクチャーバズル：P		3			3						
マイクロフィルム：4桁	2				2						
ヤングアダルト（ティーンズ，青少年）図書：3桁		7	4		11						
ヤングアダルト（ティーンズ，青少年）図書：4-6桁		1			1						
ヤングアダルト（ティーンズ，青少年）図書：5桁			1		1						
ヤングアダルト（ティーンズ，青少年）図書：別置記号+3桁		1			1						
ラベルに印字できる範囲								1		1	2
レファレンスの多い分野：桁数を増やす		6			6						
移動図書館：1桁		1			1						
移動図書館：2桁		2			2						
移動図書館一般書：3桁		1			1						
移動図書館一般書：4桁		1			1						
移動図書館児童書：2桁		2			2						
医学書はNLMC，医学書以外はNDCを使用						1					1
一般教養書：5桁								1			1
一般書：3-4桁		8			8						
一般書：3-5桁		5			5						
一般書：3桁		61	19		80						
一般書：4桁	5	202	33		240						
一般書：5桁		70	4		74						
一般書：6桁		3	1		4						
一般書：桁数制限なし	1				1						
一般書（古典）：4桁		1			1						
一般書には地理区分，時代区分を使用		1			1						
一般書の一部：3または5桁		1			1						
一部の分野：3-4桁								1			1
一部の分野：3桁								1			1

一部の分野：3桁+カラーラベルの色により細分			1			1						
一部の分野：4-5桁		2				2						
一部の分野：4-6桁		2	1			3						
一部の分野：4桁		21	3			24						
一部の分野：5-6桁		7				7						
一部の分野：5-7桁	1	1				2						
一部の分野：5桁		13	1			14						
一部の分野：6桁	2	2				4						
一部の分野：独自に細分			1			1						
一部の分野：独自分類		4				4		2				2
一部の分野：別置記号を付与		1				1						
一部の分野：別法を使用								1				1
絵本：1-2桁		1				1						
絵本：1桁		3	1			4						
絵本：1桁（エまたはE）	1					1						
絵本：2桁		1				1						
絵本：376.159									1			1
絵本：3桁									1			1
絵本：723, 9□3などを使用								1				1
絵本：E	2	50	13		1	66						
絵本：E+3桁		2				2						
絵本：アルファベット1文字			1			1						
絵本：え		4				4						
絵本：カラーラベルの色により分類		1				1						
絵本：カラーラベルの色により分類+絵著者名のカナ2文字		1				1						
絵本：図書記号（書名1文字）のみ			2			2						
絵本：請求記号なし		1				1						
絵本：独自の別置記号		6				6						
絵本：独自分類	1	1	1			3						
絵本：内容・書名等で色分け		3				3						
絵本：分類なし	2					2						
絵本：別置記号を使用		1				1						
絵本：別表記		2	1			3						

開架資料：6桁							1												1
外国語資料（洋書）：2桁		6					6												
外国語資料（洋書）：3桁	4	11					15												
外国語資料（洋書）：7桁												1							1
外国語資料（洋書）：別置記号+3桁		1					1												
外国語資料（洋書）：別置記号Gを付加		3					3												
外国語資料（洋書）：別置記号Yを付加		1					1												
外国語資料（洋書）の一部：4桁				1			1												
外国文学：N+著者名カナ2文字		1					1												
学科の特性に合わせる												1							1
学校用資料：3桁		1					1												
学生用か研究者用かにより桁数変更												1							1
旧分類資料に桁違いあり		1					1												
教科書：6桁												1							1
郷土資料（地域資料）：09から始まる4桁		7					7												
郷土資料（地域資料）：09の下を主題区分1桁												1				1			2
郷土資料（地域資料）：09の下を主題区分2桁												1							1
郷土資料（地域資料）：2桁		9					9												
郷土資料（地域資料）：3-4桁		2					2												
郷土資料（地域資料）：3桁		16	3				19												
郷土資料（地域資料）：4桁	2	17	1				20												
郷土資料（地域資料）：5桁		6	1				7												
郷土資料（地域資料）：6桁	1	1					2												
郷土資料（地域資料）：一部5桁		1					1												
郷土資料（地域資料）：一部独自分類		1					1												
郷土資料（地域資料）：郷土資料の分類規定による	1						1												
郷土資料（地域資料）：桁数を増やす		1					1												
郷土資料（地域資料）：桁数制限なし		1					1												
郷土資料（地域資料）：地域・行政資料分類規定による		2					2												
郷土資料（地域資料）：地理区分を使用					1		1												
郷土資料（地域資料）：地理区分を独自で適用		1					1												
郷土資料（地域資料）：独自に細分	2	1					3												
郷土資料（地域資料）：独自分類	3	16	1				20				1								1

郷土資料（地域資料）：独自分類+地域区分		3			3					
郷土資料（地域資料）：別置記号+3桁		1			1					
郷土資料（地域資料）：別置記号Hを付加			3		3					
郷土資料（地域資料）：別置記号Kを付加	1	1			2					
郷土資料（地域資料）：別置記号T, Kを付加		1			1					
郷土資料（地域資料）：別置記号を付加		1	1		2					
郷土資料（地域資料）910 / 917 : 4桁		1			1					
郷土資料（地域資料）の一部 : 3桁		1	1		2					
郷土資料（地域資料）の一部 : 4桁		1			1					
郷土資料（地域資料）の一部 : 5桁			1		1					
郷土資料歴史・地理分野, 地理記号 : 独自分類	1				1					
区分の少ない分野 : 3桁		1			1					
形式, 地理, 言語の各区分を追加することがある						1				1
形式区分 : 2桁まで使用							1			1
形式区分 : 3桁目が0の場合に使用							2			2
形式区分 : 一部を使用							1			1
形式区分 : 使用しない							1			1
形式区分 : 注記のある項目で使用							1			1
形式区分-067 : 社史には必ず使用							1			1
継続受入資料 : 旧版に準じる							2	1		3
継続受入資料の一部 : 4桁以上						1				1
軽読書用図書 : 桁数を抑える							1			1
桁数の見直しを検討中		1			1					
桁数上限 : 12桁							3			3
桁数上限 : 背ラベルに印字可能な範囲							1			1
桁数上限 (検索) : 書誌分類には桁数制限なし							1			1
桁数制限なし			1		1					
桁数調整, 独自分類・代用記号使用, 別法の採否等を規定化		12			12					
検索用 : 19桁		1			1					
検索用 : 5桁		1			1					
検索用 (業務用) : 桁数制限なし			1		1					
検索用 (利用者用) : 4桁			1		1					
原則 (基本) : 2桁			1		1		1			1

原則（基本）：3-4桁		10			10							
原則（基本）：3桁	1	90	17		108			6			1	7
原則（基本）：3桁（4桁への移行を検討）			2		2							
原則（基本）：4-5桁						1						1
原則（基本）：4桁	7	81	9		97		1	2	2	1		6
原則（基本）：5桁	2				2	4	4	7	1	1		17
原則（基本）：6桁		1			1	3	1	15				19
原則（基本）：7桁						2						2
原則（基本）：7桁以内								1				1
原則（400 / 499以外）：3桁			1		1							
言語区分・時代区分・内容区分による			1		1							
古典文学の一部：5桁			1		1							
作家の個人伝記：6桁			2		2							
作家研究：6桁		1			1							
冊数の多寡により3桁と4桁を使い分け			1		1							
雑誌：別表記			1		1							
参考図書：3桁		3			3							
参考図書：4桁		2			2							
参考図書：5桁		1			1							
参考図書：6桁		1			1							
参考図書：桁数を抑える						1						1
参考図書：桁数制限なし		1			1							
参考図書：別置記号Rを付加		2	3		5							
参考図書（教養系）：桁数を抑える							1					1
参考図書800 / 899：5桁		1			1							
紙芝居：1桁		2			2							
紙芝居：1桁（K）	1				1							
紙芝居：C		11	3		14							
紙芝居：K	1	15			16							
紙芝居：P		14	2		16							
紙芝居：アルファベット1文字			1		1							
紙芝居：カラーラベルの色により分類		1			1							
紙芝居：請求記号なし		1			1							

紙芝居：分類なし	2				2					
紙芝居：別表記		2	1		3					
視聴覚資料：3桁	2	2			4			1		1
視聴覚資料：別表記			1		1					
資料区分により桁数変更		1			1					
資料整理要領に基づく		1			1					
児童書：1-2桁		1	1		2					
児童書：1-3桁		20			20					
児童書：1桁			1		1					
児童書：1桁+件名カナ		1			1					
児童書：2-3桁		7			7					
児童書：2桁	3	90	21		114					
児童書：2桁+0		1			1					
児童書：3-4桁		1			1					
児童書：376.159								1		1
児童書：3桁	15	366	64		445			1		1
児童書：4桁	1	24	1		26					
児童書：5桁		2			2					
児童書：K+3桁		4			4			1		1
児童書：桁数変更		10	3		13					
児童書：独自分類		7			7					
児童書：表示変更		5			5					
児童書：別置記号+3桁	1				1					
児童書：別置記号Jを付加			1		1					
児童書：別置記号Zを付加	1				1					
児童書（日本文学以外）：2桁		2			2					
児童書002 / 899：2桁		2			2					
児童書002 / 899：J+2桁	1				1					
児童書210 / 219：3桁			2		2					
児童書210：桁数制限なし		10			10					
児童書289：個人伝記は主題に収めず289とする		11			11					
児童書300 / 399：4桁		1			1					
児童書360 / 369：3桁		3			3					

児童書370 / 379 : 3桁		3			3							
児童書380 / 389 : 3桁		3			3							
児童書400 / 499 : 3桁			1		1							
児童書400 / 499 : 4桁		1	2		3							
児童書400 / 499の一部 : 3桁		2			2							
児童書400 / 499の一部 : 4桁			1		1							
児童書450 / 459 : 3桁		3			3							
児童書470 / 499 : 4桁			1		1							
児童書480 / 489 : 3桁		5	1		6							
児童書480 / 489 : 4桁		1	2		3							
児童書486 : 3桁		5			5							
児童書486 : 4桁		2			2							
児童書487 : 4桁		1			1							
児童書489 : 4桁		2			2							
児童書590 / 599 : 3桁			1		1							
児童書700 / 799 : 4桁		1			1							
児童書780 / 789 : 3桁		3			3							
児童書783 : 4桁			2		2							
児童書9□3 : N		4			4							
児童書9□3 (□=1-8) : F		1			1							
児童書9□3 (913以外) : F2		10			10							
児童書900 / 999 : 3桁		7	4		11							
児童書900 / 999 : 4桁		1			1							
児童書900 / 999 : J+3桁	1				1							
児童書900 / 999 : 図書記号 (著者名) のみ		1			1							
児童書900 / 999 (913を除く) : 3桁	2				2							
児童書900 / 999の一部 : 3桁		1			1							
児童書910 / 919 : 1		3			3							
児童書910 / 919 : 3桁		4	3		7							
児童書910 / 919 (文学論除く) : 3桁		1			1							
児童書911 : 4桁			2		2							
児童書913 / 999 : 1桁		5			5							
児童書913 : 3桁		11	1		12							

児童書913 : 4桁		1			1					
児童書913 : F1		10			10					
児童書913 : 著者名カナ2文字		1			1					
児童書913.6 : 913.8を使用	1				1					
児童書920 / 999 : 2		3			3					
児童書の一部 : 3桁		4			4					
児童書の一部 : 4桁		1	1		2					
児童書外国語資料 (洋書) : 2桁	1				1					
児童書読み物 : 3桁		1			1					
児童書読み物 : 別表記		2			2					
児童図書研究室資料 : 5桁	1				1					
辞典 : 4桁			1		1					
写真 : PH		1			1					
社史 : 4桁	1				1					
主に9版使用だが, 007, 547.4, 548.2は10版を使用		1			1					
受入が2021年度以前 : 4桁		1			1					
受入が2022年度以降 : 5桁		1			1					
収集のターゲットにしている分野 : 桁数を増やす							3			3
所蔵の少ない分野 : 3-5桁							1			1
所蔵の少ない分野 : 3桁		1			1			1		1
所蔵の少ない分野 : 4桁								1		1
所蔵の少ない分野 : 桁数を抑える						2	7			9
所蔵の少ない分野 : 桁数変更						2		1		3
所蔵の多い分野 : 3-5桁			1		1					
所蔵の多い分野 : 4-5桁		1			1					
所蔵の多い分野 : 4桁		8	1		9					
所蔵の多い分野 : 4桁以上		2			2					
所蔵の多い分野 : 5-6桁							1			1
所蔵の多い分野 : 5桁		15			15					
所蔵の多い分野 : 6桁			1		1					
所蔵の多い分野 : 7桁							1			1
所蔵の多い分野 : NDCの別の版を使用							1			1
所蔵の多い分野 : アルファベットを使用		1			1					

所蔵の多い分野：桁数を増やす	2	15	1			18			8		2	10
所蔵の多い分野：桁数変更		20	1			21					1	1
所蔵の多い分野：細分化を検討		1				1						
所蔵の多い分野（児童書）：4桁		1				1						
所蔵数が少ないため桁数を少なくしている				1		1						
書架分類：4桁				1		1						
書誌分類：制限なし				1		1						
小規模館のため桁数は抑える									1			1
小説等に別置記号を使用		1				1						
詳細な分類（細分化）が必要な分野：3桁									1			1
詳細な分類（細分化）が必要な分野：4-5桁		2				2						
詳細な分類（細分化）が必要な分野：4桁		5	2			7						
詳細な分類（細分化）が必要な分野：5-6桁	1					1						
詳細な分類（細分化）が必要な分野：5桁		9	1			10						
詳細な分類（細分化）が必要な分野：6桁				2		2			1			1
詳細な分類（細分化）が必要な分野：シールを貼り区別		1				1						
詳細な分類（細分化）が必要な分野：桁数を増やす		7	1			8						
詳細な分類（細分化）が必要な分野：桁数変更		1				1						
詳細な分類（細分化）が必要な分野：所蔵データにジャンル追加		1				1						
詳細な分類（細分化）が必要な分野（児童書）：3桁		1				1						
新書：3桁		5				5			1		2	3
新書：4桁									1			1
新書：桁数を抑える									1			1
新書：桁数変更				1		1						
新書の一部：2桁								1				1
図書記号（著者名）の付与で判別しやすくする		1				1						
図書記号により分類		1				1						
専門書の一部：3桁以上					1	1						
専門分野：5桁									1		1	2
専門分野：6桁									2			2
専門分野：7桁									2			2
専門分野：桁数を増やす									7		1	8
専門分野：独自の細分を検討									1			1

専門分野以外：3桁							1				1		2
専門分野以外：4-5桁								1					1
専門分野以外：4桁								3	1				4
専門分野以外：5桁									1				1
専門分野以外：6桁								1					1
専門分野以外：桁数を抑える								1	1				2
全て：5桁			1				1						
装備仕様書による		1					1						
蔵書の状況に応じて3-7桁		5					5						
大学と短大で桁数を区別									1				1
大活字本：3桁		2					2						
大活字本：4桁	2						2						
大活字本：別置記号Lを付加		4					4						
大型絵本：LE		7					7						
単行書扱いかシリーズ扱いかにより分類の適用が異なる							1						1
団体貸出用図書：1桁	1						1						
団体貸出用図書：3桁	1						1						
地区館：3桁		1					1						
地理区分：桁数制限あり									1				1
地理区分：桁数制限なし									5				5
地理区分：注記のある項目で使用									1				1
地理区分のあるもの：6桁以上									1				1
地理区分のあるもの：7桁												1	1
地理区分のあるものの一部：6桁								4					4
中央館と分館では桁数の上限が異なる		18					18						
適用規定類を作成	2						2						
点字図書：別置記号Tを付加		1					1						
特になし	1	15	18		2	36	3	5	23	1	3		35
特に指定するもの：別置記号を付与		1				1							
内容により変更		6				6							
配架用分類の桁数に制限あり		1				1							
不詳		1				1							
布絵本：E			1			1							

布絵本：NE		1				1						
複数の分類が考えられる場合、専門分野の分類を付与							1		3			4
分野により記号を用いて細分									1			1
分野により桁数を増やす		1	1			2	3					3
分野により桁数変更	1	81	8			90	5	1	9	2	1	18
分野により別置記号を付加		1				1		1	1			2
分類番号の前に配架場所を表すアルファベットを付与									1			1
文学作品論：910.2		15				15						
文庫：3桁		5				5	1		1		1	3
文庫：4桁		1				1			1			1
文庫：桁数を抑える									1			1
文庫：桁数変更			1			1						
文庫：別置記号Bを付加		2				2						
文庫の一部：2桁							1					1
閉架資料：8桁							1					1
別置：別置記号を付加する分野と付加しない分野がある									1			1
別置図書の一部：桁数変更									1			1
利用に適切な分類への付け替えを一部で行う		1				1						
利用の多い分野：桁数を増やす		3				3						
利用者の利便性に配慮し分野により桁数を変える		6				6						
類例を参考に分類を付与									2		1	3
和書：6桁									1			1
和洋により桁数変更							1					1

【D】分類に関するサービスについて

D(1-1) 蔵書の検索サービス（OPAC等）を提供しているか。 [必須]

	公共図書館											大学図書館														
	都道府県立		市区立		町村立		私立		その他		計	国立大学		公立大学		私立大学		短期大学		高等専門学校		その他		計		
1 館内・館外とも提供	51	98.1%	1,562	98.4%	380	88.8%	3	42.9%	9	28.1%	2,005	95.2%	184	100.0%	64	98.5%	399	98.3%	22	84.6%	45	100.0%	12	92.3%	726	98.2%
2 館内のみ提供	1	1.9%	17	1.1%	28	6.5%	1	14.3%	3	9.4%	50	2.4%			1	1.5%	6	1.5%	4	15.4%			1	7.7%	12	1.6%
3 提供していない			8	0.5%	20	4.7%	3	42.9%	20	62.5%	51	2.4%					1	0.2%							1	0.1%
回答館数	52		1,587		428		7		32		2,106		184		65		406		26		45		13		739	

D(1-2) 蔵書検索サービスを提供している場合、分類記号を検索に使用できるか。

- 1 分類記号で検索できる
- 2 表示はできるが、検索には使えない
- 3 表示も検索もできない
- 4 その他

	公共図書館											大学図書館														
	都道府県立		市区立		町村立		私立		その他		計	国立大学		公立大学		私立大学		短期大学		高等専門学校		その他		計		
1 検索可	46	88.5%	1,384	87.8%	335	81.9%	2	50.0%	7	50.0%	1,774	86.3%	182	98.9%	63	96.9%	367	90.4%	21	80.8%	44	97.8%	11	84.6%	688	93.1%
2 表示のみ・検索不可	3	5.8%	64	4.1%	46	11.2%	1	25.0%	2	14.3%	116	5.6%					28	6.9%	5	19.2%	1	2.2%	1	7.7%	35	4.7%
3 表示・検索とも不可			17	1.1%	10	2.4%	1	25.0%	5	35.7%	33	1.6%					2	0.5%							2	0.3%
4 その他	3	5.8%	111	7.0%	18	4.4%					132	6.4%	2	1.1%	2	3.1%	9	2.2%					1	7.7%	14	1.9%
回答館数	52		1,576		409		4		14		2,055		184		65		406		26		45		13		739	

(無回答※)

(4)

(3)

(7)

(0)

※D(1-1) の回答が1, 2で無回答

(集計表D(1-2)付表) 「4 その他」の回答内容

	公共図書館						大学図書館						
	県立等	市区立	町村立	私立	その他	計	国立	公立	私立	短大	高専	その他	計
システムに登録された分類記号を選択する方法により検索可									1	2			3
館外用OPAC・館内用OPACとも検索可、館内用タッチOPACは検索不可		1				1							
館外用OPACは検索可（スマートフォンは不可）、館内用OPACは検索不可			1			1							
館外用OPACは検索可、館内用OPACは検索不可		32	7			39							
館外用OPACは検索可、館内用OPACは他のキーワードと組み合わせた検索のみ可	1					1							
館外用OPACは検索可、館内用OPACは分類記号を他項目と同等のキーワードとした検索可		1				1							

館外用OPACは検索可，館内用OPACは分類の項目表示からの検索可		6			6						
館外用OPACは検索不可，館内用OPACは検索可		6	1		7						
館外用OPACは検索不可，館内用OPACは他のキーワードと組み合わせた検索のみ可		2			2						
館外用OPACは他のキーワードと組み合わせた検索のみ可，館内用OPACは検索不可		3			3						
館外用OPACは分類記号・項目名を表示，館内用OPACは分類項目名を表示		2			2						
休館中のため検索サービス提供なし			1		1						
自館で分類を変更した場合変更後の分類からは検索できない			1		1						
書誌に分類情報があれば検索可								1			1
請求記号からの検索可		1			1	1	1	3		1	6
請求記号からの検索可，分類記号は他のキーワードと組み合わせた検索のみ可		8			8						
他のキーワードと組み合わせた検索のみ可	1	32	6		39						
他のキーワードと組み合わせた請求記号からの検索可		15			15						
独自分類使用のためNDCからの検索は不可						1					1
分類の階層表示からの検索可	1	2			3						
分類の項目表示からの検索可			1		1			1			1
分類表の名称+分類記号を入力することにより検索可								2			2

D(1-3) 蔵書検索サービスを提供している場合、検索キーとして用いることのできる主題関係の情報（一般的なキーワードは除く）を次の中から選択。複数選択可。

（複数回答の組み合わせ別回答館数は別表1を参照。）

BSH：基本件名標目表，NDLSH：国立国会図書館件名標目，LCSH：米国議会図書館件名標目

	公共図書館										大学図書館															
	都道府県立		市区立		町村立		私立		その他		計	国立大学		公立大学		私立大学		短期大学		高等専門学校		その他		計		
1 NDC	47	92.2%	1,484	97.4%	377	97.7%	3	100.0%	11	100.0%	1,922	97.4%	168	92.3%	62	96.9%	335	89.1%	18	78.3%	43	100.0%	8	72.7%	634	90.7%
2 NDLC	1	2.0%	2	0.1%	4	1.0%			1	9.1%	8	0.4%	107	58.8%	19	29.7%	83	22.1%			23	53.5%	5	45.5%	237	33.9%
3 DDC	1	2.0%	1	0.1%							2	0.1%	99	54.4%	20	31.3%	81	21.5%			20	46.5%	4	36.4%	224	32.0%
4 LCC					1	0.3%					1	0.1%	100	54.9%	19	29.7%	82	21.8%			18	41.9%	5	45.5%	224	32.0%
5 UDC					1	0.3%					1	0.1%	37	20.3%	7	10.9%	27	7.2%			3	7.0%	3	27.3%	77	11.0%
6 BSH	31	60.8%	451	29.6%	55	14.2%	1	33.3%			538	27.3%	136	74.7%	22	34.4%	201	53.5%	13	56.5%	19	44.2%	4	36.4%	395	56.5%
7 NDLSH	8	15.7%	47	3.1%	6	1.6%					61	3.1%	129	70.9%	17	26.6%	162	43.1%	8	34.8%	11	25.6%	4	36.4%	331	47.4%
8 LCSH	1	2.0%									1	0.1%	126	69.2%	12	18.8%	116	30.9%	3	13.0%	7	16.3%	4	36.4%	268	38.3%
9 その他	17	33.3%	107	7.0%	10	2.6%	1	33.3%	1	9.1%	136	6.9%	93	51.1%	7	10.9%	77	20.5%	1	4.3%	9	20.9%	2	18.2%	189	27.0%
回答館数	51		1,523		386		3		11		1,974		182		64		376		23		43		11		699	
(無回答※)	(1)		(12)		(9)						(22)		(2)		(1)		(15)		(1)		(2)		(1)		(22)	

※D(1-2)の回答が1で無回答

(集計表D(1-3)付表) 「9 その他」の回答内容 (注) 複数の事項が記載された場合、それぞれの項目に計上

	公共図書館						大学図書館						
	県立等	市区立	町村立	私立	その他	計	国立	公立	私立	短大	高専	その他	計
DDC-Sachgruppen							13		17			3	33
MeSH (医学件名標目表)							4	1	10				15
NLMC							48	5	35			4	92
Sachgruppen der Deutschen Bibliothek Frankfurt am Main							30		17			3	50
TRC MARCの件名	7	38	3			48							
TRC音楽分類		24				24							
キーワード	1		3			4			1	1			2
ジャンル	1	9				10			1				1
テーマ検索		1				1							
デュエイ十進分類法							7		1				8
ライフスタイルジャンル		2				2							
音楽資料用件名標目表 (SHfM)									1				1

学習件名		9	1			10							
館外用OPACではNDC, 館内用OPACでは利用できない		1				1							
館内用OPACでは利用できない		1				1							
教科書検定番号							5						5
業種分類	1					1							
金光教文献分類				1		1							
件名							6		1				7
件名 (教科書)	1					1							
件名 (郷土資料)	2	2				4							
件名 (種類を区別せず)									1				1
四部分類									1				1
自館入力		1				1							
主題検索不可			1			1			1				1
書誌に記録された件名							30	1	15		4	2	52
書誌に記録された分類							30	1	7			1	39
請求記号	2					2							
中国分類主題詞表 (CTSH)							4						4
特になし	2					2			1				1
独自分類	1	2				3	14		4				18
独自分類 (音楽)									2				2
独自分類 (教科書)	1					1							
独自分類 (郷土資料)	5	14	1			20							
独自分類 (視聴覚資料)	1					1							
内容細目		2				2							
日本看護協会看護学図書分類法									1				1
分類記号		11				11			2				2
分類記号 (視聴覚資料)		8				8							
分類記号 (種類を区別せず)									3				3
ISBN, ISSN			1		1	2			1		1		2
書誌レコードID									2		1		3

D(1-4) 蔵書検索サービスに、分類を使用した検索支援機能があれば、次の中から選択。複数選択可。

- 1 分類表を用いた階層検索機能
- 2 検索結果を分類（主題分野）で絞り込む機能
- 3 表示した分類記号からの再検索（リンク検索）機能
- 4 表示した分類記号の分類項目名等を表示する機能
- 5 分類記号の一覧表示機能
- 6 その他

（複数回答の組み合わせ別回答館数は別表1を参照。）

	公共図書館						大学図書館																			
	都道府県立		市区立		町村立		私立		その他		計		国立大学		公立大学		私立大学		短期大学		高等専門学校		その他		計	
1 階層検索	35	76.1%	923	80.3%	171	81.4%	1	50.0%	2	33.3%	1,132	80.1%	108	76.6%	31	83.8%	131	61.2%	10	76.9%	38	90.5%	5	71.4%	323	71.1%
2 絞り込み機能	32	69.6%	643	56.0%	74	35.2%			2	33.3%	751	53.1%	125	88.7%	30	81.1%	152	71.0%	6	46.2%	36	85.7%	6	85.7%	355	78.2%
3 再検索・リンク検索	16	34.8%	345	30.0%	27	12.9%			1	16.7%	389	27.5%	76	53.9%	19	51.4%	128	59.8%	4	30.8%	29	69.0%	4	57.1%	260	57.3%
4 分類項目表示	8	17.4%	209	18.2%	38	18.1%	2	100.0%	2	33.3%	259	18.3%	45	31.9%	19	51.4%	94	43.9%	2	15.4%	31	73.8%	2	28.6%	193	42.5%
5 分類一覧表示	17	37.0%	300	26.1%	57	27.1%	1	50.0%	2	33.3%	377	26.7%	45	31.9%	15	40.5%	59	27.6%	3	23.1%	20	47.6%			142	31.3%
6 その他	4	8.7%	115	10.0%	18	8.6%			2	33.3%	139	9.8%	6	4.3%	1	2.7%	20	9.3%	2	15.4%					29	6.4%
回答館数	46		1,149		210		2		6		1,413		141		37		214		13		42		7		454	
(無回答※)	(4)		(343)		(154)				(3)		(504)		(43)		(28)		(186)		(11)		(3)		(6)		(277)	

※D(1-2)の回答が1で無回答

（集計表D(1-4)付表）「6 その他」の回答内容 （注）複数の事項が記載された場合、それぞれの項目に計上

	公共図書館						大学図書館						
	県立等	市区立	町村立	私立	その他	計	国立	公立	私立	短大	高専	その他	計
AND検索			2	2		4							
キーワード検索				1		1			1				1
ジャンル一覧からの検索	1					1							
テーマ別検索				1		1							
ライフスタイルジャンルによる絞り込み検索			2			2							
館外用OPACと館内用OPACで検索支援機能が異なる		1				1							
館内用OPACでは利用不可		1				1							
稀にしか使用しない				1		1							
件名からの再検索（リンク検索）機能							3	1					4

検索結果を件名で絞り込む機能									5				5
検索結果を主題分野で絞り込む機能									1				1
検索結果を分類で絞り込む機能（館外用OPACのみ）		3					3						
検索結果を分類で絞り込む機能（書誌にある場合のみ）								3					3
検索結果を分類記号順に並べ替え		18	2				20						
新着資料の分類・ジャンルからの検索	1	15	1				17			1			1
大まかな分類からの検索										1			1
棚番号表示		1					1						
同一分野の図書を実際の配架を再現するように表示する機能										3			3
特になし	1	23	10			2	36			4	2		6
独自分類からの検索		1					1						
表示した分類記号からの再検索機能（書誌にある場合のみ）								3					3
不詳										1			1
分類記号の一覧表示機能（一部分野のみ）		4					4						
分類記号リストからの選択										2			2
分類記号入力による検索		12					12						
分類件名検索		6											
分類項目名の表示（検索条件入力時のみ）		18					18						
分類表を用いた階層検索機能（館外用OPACのみ）		2					2						
分類表を用いた階層検索機能（館内用OPACのみ）		1					1						
分類表を用いた階層検索機能（業務用端末のみ）	1						1						
分類表を用いた階層検索機能（絞り込み項目）		8					8						
分類表を用いた階層検索機能（項目名から）		4					4						
分類表を用いた階層検索機能を実装予定										1			1

D(2) 利用者に対し、分類に関する何らかの表示や案内をしている場合、その内容を次の中から選択。複数選択可。

- 1 書架に分類に関する見出しを付けている
- 2 館内に分類表の掲示を行っている
- 3 配布物等で分類を紹介している
- 4 検索用に分類表を備え付けている
- 5 その他

(複数回答の組み合わせ別回答館数は別表1を参照。)

	公共図書館						大学図書館																			
	都道府県立		市区立		町村立		私立		その他		計		国立大学		公立大学		私立大学		短期大学		高等専門学校		その他		計	
1 書架に見出し	52	100.0%	1,497	98.0%	385	98.0%	4	100.0%	24	100.0%	1,962	98.1%	167	97.7%	61	98.4%	387	98.7%	25	100.0%	43	97.7%	12	100.0%	695	98.4%
2 分類表の掲示	36	69.2%	1,062	69.5%	234	59.5%	2	50.0%	13	54.2%	1,347	67.3%	107	62.6%	49	79.0%	272	69.4%	14	56.0%	33	75.0%	9	75.0%	484	68.6%
3 配布物による紹介	18	34.6%	533	34.9%	62	15.8%					613	30.6%	52	30.4%	21	33.9%	170	43.4%	12	48.0%	21	47.7%	2	16.7%	278	39.4%
4 検索用分類表の設置	10	19.2%	127	8.3%	25	6.4%					162	8.1%	27	15.8%	4	6.5%	47	12.0%	2	8.0%	9	20.5%	3	25.0%	92	13.0%
5 その他	1	1.9%	80	5.2%	8	2.0%					89	4.4%	8	4.7%	2	3.2%	20	5.1%							30	4.2%
回答館数	52		1,528		393		4		24		2,001		171		62		392		25		44		12		706	
(無回答※)			(59)		(30)		(3)		(4)		(96)		(12)		(3)		(12)		(1)		(1)		(1)		(30)	

※B(1)の回答が1または2で無回答

(集計表D(2)付表) 「5 その他」の回答内容 (注) 複数の事項が記載された場合、それぞれの項目に計上

	公共図書館						大学図書館						
	県立等	市区立	町村立	私立	その他	計	国立	公立	私立	短大	高専	その他	計
OPACに分類表参照機能あり		2				2			1				1
OPACのレシートに分類・配架場所を印字		1				1							
インデックスの差し込みとマグネット式プレートによる表示		1				1							
キャラクターによる紹介		1				1							
テーマ配架を採用			1			1							
ホームページで分類を説明		2				2		1	5				6
ホームページに分類表を掲載		1				1	4		5				9
家政分野は独自の小分類を付加		1				1							
家政分野は番号ごとに色・ジャンル分け		1				1							
改修工事のため業務を縮小して開館		1				1							
絵本の配架を掲示・配布物で案内		1				1							
休館中		1				1							

作家名を表示		1				1							
児童コーナーの一部に分類表示		1				1							
児童コーナーはイラスト付きのプレートを掲示		1				1							
児童コーナーはテーマごとに見出しを付ける		1				1							
書架ごとに分類記号の範囲を表示		1				1							
書架の側面に分類と内容を掲示		1				1							
書架案内図（館内配置図）に表示		29	4			33		1	4				5
小学校の図書館見学の際に説明		1				1							
職場体験やインターンシップの際に説明		1				1							
図書館ガイダンスで分類を説明							3		8				11
図書館だよりで分類を紹介		1				1							
図書館行事で分類を説明		5				5							
請求記号の見方について掲示		1				1							
棚番号表示		1				1							
展示による説明		1				1							
特になし		8	3			11			1				1
分類表備え付け（児童コーナーのみ）		1				1							
文献検索講習会テキストに分類表を掲載									1				1
閉架式のため案内なし							1						1
別置一覧表を備え付け		1				1							
本の探し方に関する資料配布	1	14				15							

【E】分類に関する意見、感想等。（自由記入）

(分類の意義)	独自のテーマ別配架を採用しているが、資料検索、レファレンス、資料管理において分類記号も有効に機能している。（公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用）
	配架や検索には欠かせず、たいへん重宝している。（公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用）
	分類表があることで、資料の組織化に役立つ。共通の分類法があることで、相互協力がしやすい。（公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用、同回答5館）
	利用者になじみはなくても、必要不可欠。学校図書館で案内をしているので、NDC以外の分類を使う予定はない。（公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用）
	分類を使うことで、特定の分野を調べたい利用者に類書を一緒に見てもらうことができる。（公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用、同回答6館）
	膨大な資料を主題ごとに整理するためには、分類は欠かせない。（公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用）
	十進分類法は非常に役立っている。見直しは大変な作業だと思うが、これからも図書館の柱となるよう整備されることを期待している。（公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用）
	図書の分類は、全ての図書館において、国内外から収集する蔵書を効率的に管理し利用するために必要不可欠なもの。利用者へ円滑なサービスが提供できるように、書架の整理・整頓等の日々の営繕管理は勿論、図書館の蔵書構成や管理運営は、図書館員の使命と捉えている。（大学図書館：私立、NDC新訂10版使用）
	複数の分類が該当する資料の分類付与に苦戦する（特に3類）。（公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用）
	担当者により付与する分類が異なることがあり、市内図書館で統一を図るのが難しい。（公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用）
(分類作業)	TRC MARCとJAPAN/MARCとの乖離が多々あるので、その時は出版社によるCコードも参考にしている。（公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用）
	配架の際どこまで細分化したら利用者にわかりやすいのか悩む。細分化によりピンポイントで探しやすくなる反面、煩雑になるようにも思う。（公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用）
	なぜこの分類になったか納得できないものもある。（公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用）
	委託先業者の付与した分類が適切か迷う場合、自館で独自に分類を付与することがある。（公共図書館：町村立、NDC新訂10版使用）
	自館で分類する際には、NDLをはじめ他館の分類を参考にしている。（公共図書館：町村立、NDC新訂9版使用）
	認知症に関する本の分類に悩む。（公共図書館：町村立、NDC新訂10版使用）
	TRC MARCや、国立国会図書館の分類を今後も参考にしたい。他館の分類のしかたも参考にしたい。（公共図書館：町村立、NDC複数版使用）
	コンピュータ、情報分野の分類に迷うことがある。この分野の事例の情報があほしい。（公共図書館：町村立、NDC新訂10版使用）
	007（情報科学）、547（通信工学）、548（情報工学）の使い分けが難しい。（大学図書館：公立、NDC新訂9版使用）
	蔵書の方向性を的確にとらえる上では、分類作業を外部データのコピーのような単純作業にはできない。科学技術分野は情報が日々更新され、十進分類法とのすり合わせが難しい。新しい表現や用語の書籍も増え、分類をどうするか考えることが多くなった。（大学図書館：私立、NDC新訂10版使用）
作業療法（494.78?）、理学療法（492.5）の利用が多く、決まった分類があるとよい。491の下の生理学、運動器官と780.19の下の運動生理学はまとめた方がいいのか悩む。キャリア系は学生が本を探せないため、就職関連書は伝記や資格試験までまとめて366.29としている。（大学図書館：私立、NDC新訂10版使用）	
目録整理担当者として、分類作業は、その資料の主題分析がきちんとできているかなので、とても大切な作業と考えている。（大学図書館：私立、NDC新訂10版使用）	
CAT2020から書誌が乱立しており、分類についても利用しづらくなっていると感じている。（大学図書館：私立、NDC新訂10版（和書）、新訂9版（洋書）使用）	
複数の主題の図書に、配架のためにどれか1つの分類を選ぶのが困難。（大学図書館：私立、NDC新訂9版使用）	
分類のマニュアルは存在するが、受入担当者の個人的な感覚の違いで分類が不規則になっていることを感じることもある。書棚で隣接すべき図書が離れてしまうことがある。（大学図書館：私立、NDC複数版使用）	
自館で分類を付与する際はNDC10版を使用、または国会図書館や県立図書館の分類を参考にする。（短期大学図書館、NDC新訂10版使用）	
(分類担当者)	分類の利用には専門知識が必要で、利用者にとっては件名の方が有効だが、件名を理解している図書館員は少ない。MARCが利用されるようになり、資料組織について苦手な図書館員が増えているように感じる。（公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用）
	分類が理解できる専任職員が必要。（大学図書館：私立、NDC新訂10版使用、同回答2館）

	中央館とは異なる分類表を適用しているほか、特殊言語（ロシア語）の資料比率が高く、人材育成が課題。（大学図書館：国立、独自分類使用）
	独自分類表が新主題に対応できていない。専門書や外国語資料の比率が高く、大学院生や教員に分類の助言を仰いでいる。職員の異動が多く、分類の知識の維持継承が困難。（大学図書館：国立、独自分類使用）
（利用者にとっての分類）	分類法は一般に浸透しているルールではなく、動物と畜産、植物と園芸など、探しにくくなるものがあるのが難点。利用者の声や書店の配置なども参考にしながら、利用者にとって使いやすい図書館作りを進めていきたい。（公共図書館：市区立、NDC新訂9版使用）
	利用者が分類を用いて検索することはほとんどなく、図書館員の配架のルールのようになっている。（公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用）
	検索での利用は、キーワード入力が簡単なため、利用が減ってきたと感じる。配架については、同テーマの本が集まり、レファレンスなどに有用だが、利用者に対しては、掲示の工夫など検討することが多い。（公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用）
	分類は世間一般の認識と乖離している部分があるように思うが、世間の認識に合わせてしまうと主題ごとに分類できないジレンマもある。（公共図書館：市区立、NDC新訂9版使用）
	利用者が分類や件名（テーマ）で検索することは難しい。（公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用）
	市内の小学4年生を対象にした図書館教育の際、図書館の職員が分類について説明をしている。（公共図書館：市区立、NDC新訂9版使用）
	図書館見学や職場体験で分類について説明している。（公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用）
	一般的には分類に対する認識が低いように思う。認識が備われば目的の本や、その周辺の本との出会いの可能性がより高くなるのではないかと思う。（公共図書館：市区立、NDC新訂9版使用）
	司書としてはNDCはなくてはならないものだが、利用者はどこまで活用しているかわからない。もっと利用者にNDCの利用を案内する必要があると感じる。（公共図書館：市区立、NDC新訂9版使用）
	分類から資料を探す意味が利用者には浸透していないように思うため、効果的な広報を考えたい。（公共図書館：町村立、NDC新訂10版使用）
	館内に掲示している分類表は大まかな内容で、詳しい内容の分類表を掲示する、利用案内に配架図と併せて印刷する等、利用者にわかりやすい表示をしていきたい。（公共図書館：町村立、NDC新訂10版使用）
	利用者にとって分類はあまりなじみがないと思われるため、すべて分類通りの配架とせず、一部混架を行い、利用者目線の配架を心掛けている。（公共図書館：町村立、NDC新訂10版使用）
	最近の小学校では図書館学習の一環で分類についても指導されており、子どもたちがもっと簡単に使いこなせるような分類方法になれば、さらに利用されるのではないか。（公共図書館：町村立、NDC新訂9版使用）
	自館で分類を精査することは人手の制約もあり難しい。今回の調査でNDC検索の利用者への紹介が不十分なことに気が付いたので、今後案内に盛り込みたい。（公共図書館：町村立、NDC新訂9版使用）
	学生向けオリエンテーションなどの際に分類について案内、解説している。（大学図書館：国立、NDC新訂10版使用）
	分類は実際に書架に行く人のためのツールであるように思う。自館独自のルールを定める際も、類似の主題が書架で隣接するようなルール設計を心掛けている。（大学図書館：私立、NDC新訂9版使用）
	OPACに分類記号からの再検索機能はついていないが、分類項目名の表示がなく利用者にとっては分かりづらい。分類項目名の表示がCiNiiの標準仕様になれば、OPACシステムの提供元のサービスとして、自館OPACでも分類項目名の表示が可能になるかもしれない。（大学図書館：私立、NDC新訂10版使用）
	分類がわるいものは利用者にはわかりにくいと感じる（保育関連の3と7など）。（大学図書館：私立、NDC新訂9版使用）
	分類は図書館になくてはならないものであるが、利用者側はOPAC検索時の配架場所程度の認識である。もっと分類の利点をアピールしていきたい。（大学図書館：私立、NDC新訂9版使用）
	利用者に分類別の所蔵の意味を理解させるのは難しい。現状は数字毎に棚が異なっているというレベルでの認識となっている。（大学図書館：私立、NDC新訂10版使用）
	NCデータにある分類からも検索できるが、検索の仕組みを知らないと利用できない。（大学図書館：私立、NDC新訂10版使用）
	分類で検索をする人は図書館員以外にはそんなにいない気がする。（公共図書館：市区立、独自分類使用）
	NDCは資料の整理、保存の上で欠かすことができないが、公立図書館の利用者にとって、どこまで浸透し、利活用がなされているのかを知りたい。（公共図書館：町村立、独自分類使用）
	利用者の多くは分類記号を主題ではなく、資料のアドレス、置き場と認識している。その認識ならその上で、記号の体系を意識させていきたい。（大学図書館：私立、NLMC使用）

(分類や配架の工夫)	服飾、料理の配架で、NDC分類は使えないため、オリジナル分類を使用している。(公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用)
	0類と5類の情報端末機器、ネットワークサービスについて分類が離れているため、自館で独自に工夫を行うべきか迷う。(公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用)
	中央館以外の図書室はNDC10版を配架にも検索にも使用。(公共図書館：町村立、NDC新訂10版使用)
	PC関連書は類似主題が複数の類に分かれ利用しにくい面があるため、「PC関連本コーナー」として類をまたいだコーナー設置をしている。図書館を初めて利用する人にも目的の資料にたどり着きやすくするこうした工夫も必要。(公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用)
	NDCそのままの分類では利用者にわかりにくい面があるため、趣味暮らし(料理、ガーデニング、旅行ガイドブック等)、仕事に役立つコーナー(資格、経営等)、コンピューター、ティーンズとして別置しているものが多い。(公共図書館：町村立、NDC新訂9版使用)
	専門性が高く蔵書の大半がNDC4類に該当するため、2桁目以降を分類記号に使用している。(大学図書館：国立、NDC新訂10版使用)
	新刊の受入数が少なく、既存の自館蔵書の分類に添う方法で分類記号を付けた方がわかりやすい。受入図書のジャンルが特定分野に偏る傾向もあり、学部教育に特化した学生が使いやすい本だけ並べるような配架について教員からの意見が出ることもある。(大学図書館：私立、NDC新訂9版使用)
	音楽大学の図書館なので、音楽分野を細かく分類している。楽譜は独自分類。(大学図書館：私立、NDC新訂9版使用)
	最新技術を扱う資料に図書館分類が追いついていなかったり、ビジネス関係など分類の曖昧なものもある。図書館職員は資料と利用者を会わせるために、より自館に合わせた分類に勤める必要がある。(高等専門学校図書館、NDC新訂8版(和書)、新訂9版(洋書)使用)
	(NDCの版の切替)
過去のものととの整合性を取るのが難しいので、分類表の切り替えは困難。(大学図書館：国立、NDC新訂9版使用)	
NDC8版から10版に変更して間もないため、今後必要な作業を今回の調査結果を参考に検討したい。(大学図書館：公立、NDC新訂10版使用)	
2024年度より和図書の適用分類法をNDC7版から10版に変更。網羅的な変更とせず、背ラベル色の変更と7版-10版対応表に基づく書架掲示により対応。(大学図書館：私立、NDC新訂7版(和書)、DDC(洋書)使用、同回答4館)	
分類法を変更した場合の他大学での対応を知りたい。全件変更か、部分変更か、その運用方法や利用者教育等について。(大学図書館：私立、NDC新訂6版使用)	
他館の新訂10版への切り替え率を知りたい。(大学図書館：私立、NDC新訂10版使用)	
これから分類の版の切り替えを考えているので、今回の調査結果を参考にしたい。(大学図書館：私立、NDC新訂8版使用)	
NDC8、9版から10版への変更点の整合性をどのように取るかが未検討。10版への切替に伴う作業量が多い場合は、現状での運用を継続することになると思う。(大学図書館：私立、NDC新訂8版使用)	
NDC10版を2023年度春から適用したが、類似分類を振り分けるのが難しい。新しい言葉や技術が日々生まれており、次版の発行が比較的早いのではないかと懸念している。(大学図書館：私立、NDC新訂10版使用)	
旧版から新版への移行のタイミング、貼替用ラベルの経費が難点となっており、新版への切替に至っていない。(大学図書館：私立、NDC新訂8版使用)	
NDC8版からの移行について検討が必要と考えている。(短期大学図書館、NDC新訂8版使用)	
(NDCの提供)	MetaBridgeでNDC10版の「用語一覧」と検索機能を公開してほしい。(公共図書館：都道府県立、NDC新訂10版使用、同回答2館)
	館内掲示用の分類表が欲しい。(公共図書館：町村立、NDC新訂10版使用)
	分類表の第四次区分以下の英語表記(日本語併記)を冊子やデータなどで提供してほしい。(大学図書館：国立、NDC新訂9版使用)
	NDCとDDCの比較表があるとよい。ネットで公開されている比較表「DDCからNDCへの記号変換」を分類付与で時々参考にしている。(大学図書館：国立、NDC新訂9版(和書)、DDC(洋書)使用)
	NDCがデータファイル化され、様々な分野での活用が期待されている。今まで積み上げてきたものを新しい時代に活かしていくことができれば新たな方向性も開けるのではないかと。(大学図書館：私立、NDC新訂7版使用)
(NDCの改訂・補訂)	新主題に対する分類が新訂版が出るまで反映されないため、必要に応じて分類の追加をしてほしい。(公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用)

	新主題に対する分類が統一されるようにしてほしい。(公共図書館：町村立, NDC新訂10版使用)
	新しい技術などに関する資料が刊行された場合にNDCでどの分類番号を使うか、分類委員会としての見解をいち早く公開してほしい。(大学図書館：私立, NDC新訂10版使用, 同回答3館)
	参照されている分類について、どちらを採用するか判断基準となる詳しい説明が欲しい。新しくできた言葉や類語など相関索引を充実してほしい。Webで公開して更新頻度を上げたり検索の利便性を高めたりしてほしい。(大学図書館：私立, NDC新訂10版使用)
(NDCの体系・項目)	絵本や紙芝居を体系的に分類できるようなルールがほしい(補助表でもよい)。(公共図書館：都道府県立, NDC新訂9版使用)
	829に韓国語を含め多くの言語が分類されているが、820/829を再編し、韓国語のように身近な言語は独立させた方がよい。(公共図書館：市区立, NDC新訂9版使用)
	桁数はあまり多くなくてもよいのではないか。(公共図書館：市区立, NDC新訂10版使用)
	インターネット・コンピュータ関連が統一された分類があるとよい。「子の名付け」の本を別法として599(育児)に分類できるようになるとよい。(公共図書館：市区立, NDC新訂10版使用)
	社会情勢が大きく変化しており、新主題も増加している現状では、主題同士の関連性がスムーズでない分野も見受けられる。時代に合った、抜本的な見直しが必要なのではないか。(公共図書館：市区立, NDC新訂9版使用)
	ITや情報科学関係など今後も発展が見込まれる分野は、第2区分など大きな区分に設定してもいいのではと思う。(公共図書館：町村立, NDC新訂10版使用)
	件名(項目名)の表現が一般にわかりづらいものが多い(総記, 社会病理など)。内容的に近くても、分類が大きく離れるものがある(幼児教育と育児, 著作権法と知的財産権と法律など)。(公共図書館：町村立, NDC新訂10版使用)
	分類項目が細分化され過ぎると、小規模館では使用しにくくなる。(公共図書館：町村立, NDC複数版使用)
	手話や点字を言語に分類するのは、利用者の利便性の点で戸惑う。(公共図書館：町村立, NDC新訂10版使用)
	知識体系の根幹をなす分類法が、今後より使い勝手のよいものになることを期待している。(大学図書館：公立, NDC新訂10版(和書), UDC(洋書)使用)
	物事が多様になり、十進分類では分類できないものも増えているように感じるが、今後新しい項目をどのようにしていくのか、または分類自体を大きく変えることがあるのか動向が気になっている。(大学図書館：私立, NDC新訂10版使用)
	検索用と配架用で同じ分類を使用しているため、医学分類の桁数を増やさないでほしい。看護学は成人看護と老年看護に分かれているが、医学では老年医学や慢性疾患などの分類は必要ないのか。(大学図書館：私立, NDC新訂10版使用)
	細かく分類を分けすぎないでほしい。過去の版と違いすぎる分類のつけ方はやめてほしい。(短期大学図書館, NDC新訂10版使用)
(今回の分類調査)	今回の分類調査で、分類の奥深さの一端を垣間見た。(公共図書館：市区立, NDC新訂9版使用)
	主題関係の情報がわかりづらかった。(公共図書館：市区立, NDC新訂9版使用)
	グーグルフォーム回答の場合は依頼メールに設問一覧を添付してほしい。(公共図書館：町村立, NDC新訂9版使用)
	絵本の分類についての設問も欲しかった。(公共図書館：町村立, NDC新訂10版(和書), NDLC(洋書)使用)
	NDC新訂10版を使用している、または使用予定のある館は多いのか。(公共図書館：町村立, NDC新訂9版使用)
	比較的蔵書数の多い図書館でNDC新訂10版への切替を実施した例があれば、事例紹介してほしい。(大学図書館：国立, NDC新訂9版使用)
	他大学の情報を知りたいので調査結果を参考にしたい。(大学図書館：私立, NDC新訂10版使用)
	設問C(2-1)の回答は10桁だが、Excel調査票にある選択肢「10 その他の桁数」が選択できなかった。(大学図書館：私立, NDC新訂9版使用)
(独自分類)	郷土図書に関しては県独自の分類があるので、そちらに従って分類している。(公共図書館：市区立, NDC新訂10版使用)
	一部独自分類を使用しているが、分類法とはいえない。(公共図書館：市区立, NDC新訂9版使用, 同回答2館)
	NDCを用いて配架しない図書館が出てきて戸惑う。(公共図書館：町村立, NDC新訂10版使用)
	大学の一学部の図書館ではその分野に特化した資料になるため、NDCの分類だけでは適した詳細な分類が付与できない場合がある。一学部の専門図書館ではNDC分類を原則としながらも、その図書館独自の分類を設ける必要性があると感じる。(大学図書館：私立, NDC新訂10版使用)

データ処理・情報処理関連図書は独自の分類を行っている。(大学図書館：私立，NDC新訂9版使用)

音楽大学の付属図書館のため、音楽資料に特化した独自の分類法を使用。音楽以外の項目は非常にシンプルなため、NDC8版を併用し補っている。(大学図書館：私立，独自分類使用)

取り扱う資料の約95%が特定分野になるため、初期より独自分類法を適用。標準の分類法の知識も研鑽しながら、採用している独自分類の見直しも怠らないようにしていきたい。(大学図書館：私立，独自分類使用)

分類表の作成時(1972年)から利用しているので現在の分野に適合させるのが難しくなっているが、なかなか改定できないでいる。(その他(大学系)，独自分類使用)

NDC等既存の分類方法を適用していない。(公共図書館：町村立，分類不使用)

専門図書館なので既存の分類になじまない。(大学図書館：国立，分類不使用)

(その他) 東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故の影響により休館しており、今後図書館機能を持つ複合施設を新たに整備する予定。(公共図書館：町村立，分類不使用)

特になし。(同回答公共図書館56館，大学図書館28館)

以上のほか、事務連絡を記載した図書館がある。